NPO法人フォトカルチャー倶楽部［コミュニティ情報誌］
フォトライフ
四季
Vol.87
WINTER
冬
会員71,386名の皆さんの力で社会貢献、
(2013年10月31日現在)
フォトカルチャー倶楽部。
ほっとできる
冬だからこその
「ぬくもり」を伝えます
冬の思い出を高画質でおさめる
FUJIFILM X-M1を
会員限定プレゼント
とっておきの年賀状を送るだけ
写真年賀状コンテスト募集はじまる
雑誌『旅行読売』とコラボ
現地カメラマン募集
またやります！ あの人気イベント
相撲部屋 朝稽古の
見学 & 撮影会

みんなで新しい写真体験を!

フォトカルチャー倶楽部(PCC)は会員の皆さまのご支援で、さまざまな社会貢献・文化貢献・環境保護貢献をしています
美しい地球を写そう。美しい地球を守ろう。写真で人の絆を深めて、すべての生き物と共生しよう

会員の皆さんの写真で表紙を飾りませんか?
作品投稿お待ちしています。P1、P6～7
に掲載する作品も同時募集。(詳しくは→P48)

フォトカルチャー倶楽部の最新情報は
こちらで確認できます。

フォトライフ四季ホームページ
→ http://www.npopcc.jp/aaa/shiki/
フォトカルチャー倶楽部
Facebook ファンページ
→ http://www.facebook.com/npopcc
メルマガも配信中!

上の写真:「愛しみ」

福井幸男さん(京都府)

仲間たちと一緒に修練を積む舞妓さんを、祇園の歌舞練場で撮影しました。この日は曇りでコントラストが低く、彼女の表情を引き立たせるために、絞りやシャッタースピードに気を使いました。何枚か撮り、彼女の自然な雰囲気が一番出ている一枚を選びました。

ニコンD300、AF17-55mmF2.8、F4.5、1/250秒、京都府京都市(祇園)、2011.10.25
「365日フォトコンテスト2011秋冬」より

表紙:「おやこ」

小林 誠さん(青森県)

偶然にも顔を寄せ合うウマの親子をとらえられ、動物の親子愛が表現できました。彼らを主役として引き立たせるために、絞りを開き、背景をぼかして撮りました。ウマがおびえて逃げてしまわないようにそーっと近づき撮影したので、この瞬間がおさめられました。

キヤノンEOSKiss、EF70-200mmF2.8、F3.5、1/200秒、青森県、2012.1.28
「365日フォトコンテスト2011秋冬」より

 <撮影データ表記>カメラ、レンズ、絞り、シャッタースピード、撮影地、撮影日

[POWER OF PHOTOGRAPH]

写真の力

小池キヨミチ『自然とつながる時』

「冬のぬくもり」
アメリカ　ユタ州
アーチーズ国立公園

小池キヨミチ（こいけ・きよみち）
1959年静岡県浜松市生まれ。1983年米国永住。2001年同時多発テロ事件を契機に本格的に写真作家活動を開始。2004年から各種写真展入賞、後に2006年に前田真三賞風景写真社主催の最終選考作品（同年の受賞者なし）に選ばれ高い評価を受ける。その後、プロ写真作家として活動を始める。2013年5月には日本で6度目の個展を開催。著書に写真集「大砂丘の声」など他多数。日本写真家協会会員。

この掲載写真は、富士フイルムフォトサロンでご覧になれます

第17回「写真家たちによるチャリティー写真展」

期間：12月13日（金）～12月15日（日）
10時～19時/最終日は16時まで
会場：富士フイルムフォトサロン東京（スペース１・２）

写真展による収益金は、いのち・むすびば 放射能から子どもを守る山梨ネットワーク、SCADP（カンボジアの子どもたちの教育サポート団体）へ寄贈予定。
詳しくは→http://www.photovolunteer.org/

PENTAX LX、SMC-A 20㎜ f2.8、F18、1/30 秒、+ 1/3 EV、ISO100、2012.12.29、プロビア100F、C-PL、三脚使用

「厳しさの中に感じるもの」

大陸の四季の流れには、他と比べ難い状況がある。躍動感あふれる緑豊かな夏の景観は、光と熱を注ぐ太陽とその恩恵に支えられて栄える命が、生態域の環境と協調しながら物語をつくりあげる。一方、冬の凍りつく情景は、大地と天空がつながるような瞬間を魅せてくる。薄い雲が空を覆い、夜が明けても気温が全く上がろうとしないのに残雪の質感がなぜか有機的に思え、地表面に広がり群がる生き物のように思えることがある。氷点下20度の凍りつく空気の中では、ほんの少しの空気の動きも肌の細胞を刺激して、寒さというよりも痛さを感じる。

この土地では、ほのかに差し込む光を吸収する雪の塊たちが目覚め、蠢くようにもみえてくる。脳裏に焼きつく情景や感動は、必ずしも観光ポイントのみで得られる特権的なものではない。それは観るものの感性を通してとらえることができるもので、その土地とのつながりが与えてくれる大きなギフトになる。撮影中は肌に突き刺さる冷気を感じるが、造形物の形状や色とそれらを照らす光の神秘的なコンビネーションは、身体の芯に暖かさを伝えてくれる。優しさとも感じられる感覚が、指が動かなくなるような気温との間に極端なコントラストを伴って入り込む。そして天候の変化は空を騒がせ被写体に躍動感を与えてくれる。

物理的な大きさにはときに圧倒されるものがあり、スケールに飲み込まれてシャッターを切らされることもある。撮影は勝ち負けではない。被写体と強くつながり同調することが、画像として記録される作品に視覚的な力を超えた奥深い意味合いやインパクトを焼き付ける。写真は、メッセージを埋め込まれた宝箱のように、「深く読み込むことの楽しみ」と「蓋を開ける楽しみ」を知るものを待ち続けることだろう。冬景色にぬくもりを感じるのは、私たちの多岐にわたる感性枠がもたらすものであり、それをどう作品に活かすかが個々の芸術的な感覚を成長させる。同時に、今更ながら底知れない力が写真にはあると思わざるを得ない。

[POWER OF PHOTOGRAPH]

写真の力

『NATIONAL GEOGRAPHIC』より

米国・コロラド州のクレステッドビュートはロッキー山脈の山間にあり、スキーリゾートとしても知られる町だ。冬になると、クリスマスツリーを運ぶ自転車が雪の降り積もった道を走り抜ける。

表紙写真は「ナショナル ジオグラフィック日本版」2013年10月号
http://www.nationalgeographic.jp

「被写体大辞典」では雪や氷のある作品を掲載。同じ被写体でもいろいろな撮り方があります。詳しくは→P22

POWER OF PHOTOGRAPH

写真の力

みんなでつくる『フォトライフ四季』
編集部が選んだ今月の2枚

「注視」

石田尚義さん（香川県）

寒い冬、サル達は寒さをしのぐため何匹か集まって"サル団子"になります。サル団子になったサル達の注目を集めるために、事前にナンキン豆を準備。撮影中にナンキン豆の音を出すと、音に反応してたくさんのカメラ目線のサルをカメラにおさめることができました。

ニコンD700、24-120mm、F16、1/20秒、2012.1.27、香川県（小豆島銚子渓）、UV

「365日フォトコンテスト2011秋冬」より

「冬のおり姫とひこ星」

久保田莉奈さん（長野県）

手近な木の実などを探して、雪だるまをつくりました。雪だるまが溶けてしまわないように、すばやく撮影しなくてはならず苦労しました。2つが寄り添うように配置。雪だるまの顔を上に向け、真上から撮っておもしろい構図になるように工夫しています。背景は雪ですが、空をイメージして青くみせました。

ソニーNEX5N、18mm、F4、1/640秒、長野県阿智村、2013.2.6

「365日フォトコンテスト2012秋冬」より

日本一のフォトコンテストは 365日チャンスがあります

PCC主催の「365日フォトコンテスト」は、応募総数が約10万点を超える全国最大規模のフォトコンテスト。プロの写真家や専門家が全応募作品を審査しています。コンテストの上位入賞作品は、本誌や『フォトコンライフ』（双葉社）で随時掲載します。詳しくは→P43

フォトコンテストの上位入賞作品がもっと見たい方必見。「365日フォトコンテスト2013春夏」作品を発表。詳しくは→P38

<撮影データ表記>カメラ、レンズ、絞り、シャッタースピード、撮影地、撮影日、その他

フォトカルチャー倶楽部（PCC）のいぶし銀

マクロレンズを通して自然の摂理を垣間見る

全国7万人の会員、7万通りの写真の撮り方、写真への想いがある。
写真で人生を輝かせている人をピックアップする、「PCCのいぶし銀」。
今回はPCC会員・小藪豊喜さんに話をうかがい、
写真を撮り始めたきっかけや、撮影術を語ってもらった。

今月のいぶし銀

小藪豊喜さん

写真は出会いの芸術であり、発見の芸術だと思います

オンブバッタが、まるであこがれの楽園をのぞきこんでいるように見えました。
ニコンD300s、105㎜、F3.2、1/2500秒、ISO200

考えてみれば、写真は思いもかけぬ一瞬の出会いによって生まれてくるものなのかもしれない。

小藪豊喜さんの自宅から車を走らせて約10分。そこに季節ごとに色とりどりの花が咲き誇る「大泉緑地」がある。この公園は、少しでも時間があればカメラを手に訪れる、小藪さんにとってホームグラウンドともいうべき場所になっている。

2012年9月中旬のことだ。三連休を利用して、小藪さんは遠方の植物園まで撮影に出かけた。最終日の撮影を終えて一息ついたところで、ふと時計に目をやったら三時半過ぎ。日暮れまでまだ時間がある。そう思った小藪さんが車を向けた先は、大泉緑地だった。

公園に着き、マクロレンズを装着すると、そこに顔なじみのカマキリが顔を出した。さっそくシャッターを切って、親しい小さな友人とファインダーのなかで戯れる。

何枚か撮影したときだった。どこからか自分をじーっと見つめている視線を感じた。何だろう？　そちらにふと目を向けると、鮮やかな花をつけたムラサキゴテンの端から顔を出しているオンブバッタだった。それは小さな命と邂逅した瞬間で、小藪さんは無我夢中でシャッターを切った。

「マクロレンズを通して、小さな自然の中に大きな自然の摂理を発見したときの感動は、何物にも代えられません。シャッターを切り続け、ただただファインダーを覗き続けてしまうこともよくあるんです」

このとき撮影した写真をアメリカの団体が監修する「ネイチャーズ ベスト フォトグラフィー ジャパン 2012」に応募すると、見事グランプリに輝いた。まさに、虫の知らせが小藪さんに華やかな栄冠をもたらした。

写真を本格的に始めたきっかけは、ふとしたことから。小説家になりたい。そんな思いを抱いて、自分なりの表現方法について試行錯誤していたある日。職場の同僚が自分で撮った風景写真をパソコンの壁紙に使っているのを見て、素直に「いい写真だ」と思った。やがて「写真も自分を表現するツールのひとつになるんじゃないか」という気持ちが芽生えた。さっそくデジタル一眼レフカメラを購入し、撮影し始めた。それから四年半。

「写真は出会いの芸術であり、発見の芸術だと思います」

こんなことを言うのはお恥ずかしい限りですが、と前置きして話してくれた小藪さん。しかしその一言に、あらためて写真の本質について考えさせられた。

「ネイチャーズ ベスト フォトグラフィー ジャパン 2012」でグランプリを受賞した「ぼくここにいるよ」
ニコンD300s、105㎜、F5.6、1/320秒、ISO800

ネイチャーズ ベスト フォトグラフィージャパンは、コンテストをはじめ自然写真をテーマに様々な活動をしています。詳しくは→http://www.nbpj.org/

窓から入る明かりで照らされている洋書に被写界深度の浅いボケ味表現で温もり効果を加えてみました。キヤノンEOS-1Ds Mark II、50㎜、F1.4、1/1000秒、ISO160、日陰

こんな写真撮りたくありませんか？
それなら…

『被写界深度』の〝ソコシリ〟

ナビゲーター
田邊和宜さん

そこが知りたい！ 初心者向け講座　第６回　ボケを駆使した街スナップに挑戦

田邊和宜（たなべ・かずよし）
大阪芸術大学卒業後渡米し、シカゴ・セントルイス・ニューヨークで写真を学ぶ。帰国後、大阪芸術大学写真学科研究室を経て、現在フリーカメラマンとしてアマチュア指導などで活躍中。田邊さんの撮影教室はP33をチェック。

【ココがポイント１】

「絞り値（F値）」でピントの奥行きを調節する

ご自身の写真を手に取ってみてください。写真には「画像がハッキリ見える」ピントの合っているところと「画像が曖昧に見える」ボケの部分があります。これが「被写界深度（ピントの奥行き）」です。

被写界深度を調節するには、「絞り値（F値）」と呼ばれる数値を調節できる「絞り優先オート」にカメラの撮影モードを設定します。この絞り値（F4.8など）が被写界深度を調節するための基本になります。F値と被写界深度の関係は、その値が「小さい（2.8、1.4など）」ほど被写界深度は「浅く」その値が「大きい（22、16など）」ほど「深く」なります。カメラの取扱説明書の「絞り値の設定方法」をよく読み、好みの絞り値を設定できるようになりましょう。

F1.8で撮影。背景がぼけている（被写界深度が「浅い」）

F8で撮影。全体がはっきり見える（被写界深度が「深い」）

【ココがポイント２】

「最短撮影距離」を意識してボケ味を引き出す

ところが、実際に小さいF値を設定して撮影してみても期待していたほど「ピントの浅いボケ味」の効果が出なかった人も多いはずです。実は、被写界深度の効果の差は「F値の設定」の違いだけではなくて、撮影に使用する「レンズ」や被写体からカメラまでの「撮影距離」でも異なります。そこで、ご自身のレンズの「一番のボケ味」の効果を引き出すために小さいF値を設定したら、次に「最短撮影距離」を意識してみましょう。被写体からカメラまでの距離が短い方が、ボケ味の効果は増します。ズームレンズを使用している方は、最短撮影距離から、レンズの最も「望遠側」で撮影してみてください。作例のようなボケ味を最大限に活かした撮影ができます。

ちなみに「最短撮影距離」とは、レンズが被写体に最も近づいたときに「ピントが合う距離」のことで、使用するレンズによって違います。自分の持っているレンズの最短撮影距離を確認しておくと撮影するときに便利です。

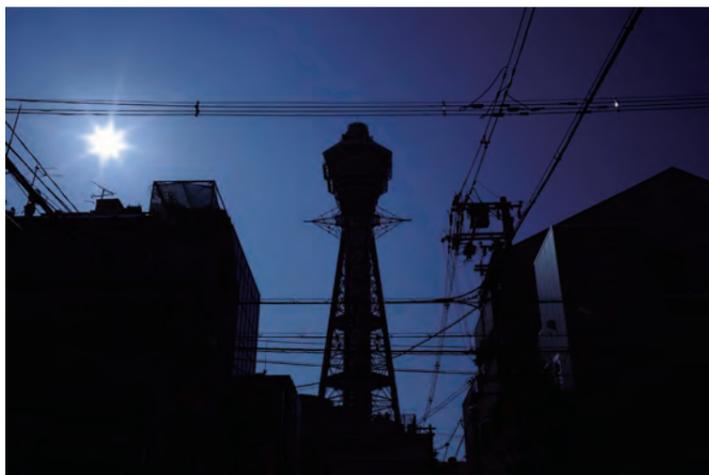
哀愁を感じる「初冬・落葉」のイメージをボケ味表現でさらにポエティック（詩的）にしあげてみました。焦点距離200㎜
キヤノンEOS 5D Mark II、EF70-200㎜ f/2.8L IS USM 、F4、1/250秒、+1/2EV、ISO100、太陽光

【ココがポイント３】

被写界深度はＦ値、最短撮影距離と「焦点距離」

「F値」「最短撮影距離」を理解して使えるようになったら最後に「レンズの焦点距離」を活かして有効に被写界深度を調整できるようになりましょう。

「焦点距離」とは、ピントを合わせたときのレンズからカメラ内の撮像素子までの距離のことですが、今回は、「焦点距離」の違いを、単純に「画角」の違いと考えてください。「画角が広い（広角）と被写界深度は深く」なりやすくて、「画角が狭い（望遠）と被写界深度は浅く」なる傾向にあることを知っておきましょう。

つまり、上のようなボケ効果のある作品を撮影するには「望遠＋被写体との距離が近い＋小さいF値（F5.6以下）」の組み合わせ、下のように全体の画像がはっきり写るように撮影をする場合は「広角＋被写体との距離が遠い＋大きいF値（F８以上）」の組み合わせ。この基本の組み合わせを使い分ければ被写界深度を活かした撮影はほとんどの場合でうまくいくはずです。

おもに広角レンズを使う街スナップの撮影には、深めの被写界深度が有効です。建物の線の美しさをシャープに表現しました
キヤノンEOS 5D Mark III、EF35㎜ f/2 IS USM 、F16、1/750秒、-1EV、ISO100、太陽光

田邊先生と撮影しながら学べる講座は→P33

初心者大歓迎！ デジタル一眼カメラ初心者向けツアー

PCフォトインストラクターが教える「写真、撮ろうよ。」

雪と富士山のコラボレーションが富士五湖すべてから撮れます

関東各地から出発 デジタル一眼カメラを使った初心者向けツアー

PCC賛助企業のクラブツーリズムが開催している、デジタル一眼カメラを使った初心者限定の日帰りバスツアー「写真、撮ろうよ。」

このツアーは関東各地から出発。撮影地に向かうバスの中で、用意されたレジュメを使いながら同行するPCCフォトインストラクターに、カメラの操作方法や上手に撮るコツのレクチャーを受けるところから始まります。

「こんな初歩的な質問をするのは恥ずかしいのでは？」といった心配は無用。初心者向けのツアーなので、どんな質問でも懇切丁寧に教えてもらえます。現地での撮影中も、その状況にマッチした実践的なアドバイスをもらうことができるので、自分に合ったペースでじっくり学べます。

季節の名所を巡りながら1回に1カリキュラムが学べる

このツアーのもうひとつ大きな特徴は、1回のツアーで1カリキュラムずつ学べるようになっていること。ひとつひとつ確認しながら撮影テクニックを取得していくことができるので、あわてずゆっくりとステップアップできます。そして、撮影地は誰もが写真に収めたくなるところばかり。

12月開催予定となる撮影地は、横浜・みなとみらい。「ホワイトバランス」と「ISO感度」をテーマに、華やかに彩られるクリスマスイルミネーションを撮影します。色味が変わる機能や特性をおぼえて表現の幅を広げていきます。ロマンティックで幻想的な光が織りなす世界をあなたならではの感性で切りとってください。

1月は、「絞り」がテーマ。ボケ味を上手に使って、富士五湖から雪化粧をした富士山を撮ります。山中湖・河口湖・西湖・精進湖・本栖湖、それぞれの湖から臨む富士山はその趣も違い、思わずシャッターを切る機会が増えること間違いありません。

撮影地に向かうバスの中で撮影のコツをレクチャー

1月 [テーマ]絞り
形が変わる！ 雪化粧の富士山を富士五湖すべてから撮ろう！

2月 [テーマ]露出・露出補正
白雪光る戦場ヶ原と華厳の滝

冬景色になった戦場ヶ原を幻想的に撮影できます

3月 [テーマ]まとめ
三毳山（みかもやま）・カタクリの群落

今まで学んだテクニックを活かした撮影をしてみましょう

12月 [テーマ]ホワイトバランス・ISO感度
みなとみらい・ロマンチックイルミネーション

冬ならではの美しいイルミネーション撮影にチャレンジ

2月は、栃木県の戦場ヶ原と華厳の滝が撮影地。「露出・露出補正」をテーマに、岩壁に連なる氷柱や轟音を上げて流れる荘厳な華厳の滝を余すところなく撮影していただきます。冬の陽に照らされて輝く一面の雪風景は、この季節ならではの被写体。写真の明るさを調整してワンランク上の作品を目指します。

このほかにも年間を通して様々な撮影地と撮影テーマを用意していますので、毎月1度のツアーが年間行事になります。

ツアーの成果をフォトコンテストに応募して確認

ツアーに参加して写真を撮影したら、その実力アップを図るために、ぜひフォトコンテストにご応募ください。

「365日フォトコンテスト」には、初心者でも気軽に応募できる「腕だめしコース」があります。たくさんの人に写真を見てもらうことは、間違いなく、あなたの写真をさらに上達させてくれます。ツアーで知り合った人と一緒に応募すれば、お互いに技術を伸ばしていくきっかけになるかもしれませんよ。

「写真、撮ろうよ。」ツアーのココがおすすめ

おすすめ1 カメラの操作方法や撮影のコツなどを指導するPCCフォトインストラクターが同行するので安心

おすすめ2 年間を通して様々な撮影地と撮影テーマで経験値が上がる

おすすめ3 上手に撮るコツのレジュメつきなので、「学び」をお持ち帰り

おすすめ4 バス車内（12月は室内講座）ではレジュメを使ったレクチャーで理解が深まる

お問い合わせはこちら
クラブツーリズム
TEL:03-5323-6990
営業時間：月～土 9:15～17:30 日・祝は休業
詳しくは クラブツーリズム 写真 検索
資料請求はNO.I01720（アイゼロイチナナニゼロ）をお申しつけください

※ツアー内容は予告なく変更する場合がございます。

Vol.11 フォトグラファー・その江さん

画質も操作性も大満足！普段使いのこだわりのカメラ

テーブルフォトの第一人者・その江さんが愛用している富士フイルムのXシリーズ。今回はその最新機種「X・M1」の魅力について語っていただきました。

X-M1では、カメラ上部のWi-Fiボタンですぐに画像が転送できます

Facebookにアップされているゴハン

2011年にスタートしたその江さんのFacebookには、Xシリーズで撮影したその日の“ゴハン”などが随時アップされています。また、2013年8月には、FUJIFILM SQUAREで、東京ミッドタウンのおすすめゴハンを展示した写真展「しあわせゴハン」も開催されました。「しあわせゴハン」でもX-M1で撮影した作品が展示されました

スナップ撮影やお出かけに便利なX-M1

軽量コンパクトで持ち運び便利なX-M1。小さいながらも、独自開発されたX-Trans CMOSセンサーで高画質な写真を楽しめます。「これからお出かけ」なんてときも、3.0チルト式液晶モニターだから街で出会ったネコなど、低い位置から服を汚さずに撮影できます

写真のアップに欠かせない、愛用のスマホ

画像のアップに欠かせない、愛用のスマートフォン。専用のアプリをダウンロードしておけば、スマホに気に入った画像を転送、いつでも楽しめます。愛用のスマホにつけている友人がプレゼントしてくれた根付には、しっかりと名前が刻まれているので、どこかで落としても「誰かが必ず届けてくれるはず（笑）」だとか。ちなみに、いっしょについているのは、故郷新潟生まれのキャラクター「もち-うさぎ」

その江さんが語る、FUJIFILM X-M1の魅力

フィルム派も満足する こだわりの画質！

「高彩度でメリハリのある表現を行うVelvia（ビビッド）、自然な肌色と鮮やかな背景を両立させたASTIA（ソフト）、見た目に自然な色を再現してくれるPROVIA（スタンダード）など、まるでフィルムを選ぶような感覚で、フィルムメーカーとして究極の色再現を追求してきた富士フイルムならではのこだわりを楽しめます」

その日の気分で 使い分けたいレンズ

「ダブルレンズキットに含まれるレンズ、XC16-50mmF3.5-5.6 OISとXF27mmF2.8は、その日の気分によって使い分けています。前者はコンパクトサイズながら、広角から標準、中望遠までをカバーするオールマイティな標準ズーム。後者は街歩きを楽しみながら、単焦点のボケ味を気軽に手に入れることができるのが最大の魅力です」

私にとっては、普段使いのカジュアルなカメラ

テーブルフォトからペット、風景写真まで、ジャンルの垣根を飛び超えて活躍しているその江さんが、いつもバッグにしのばせているカメラ「FUJIFILM X-M1」。その江さんは、友人とレストランで食事をするときなどに、このカメラで気軽に撮影を楽しんでいます。

「最近はスマホで済ませる人が多いけど、写真を残すならばやっぱり私は画質にこだわりたい。そんな要望にこたえてくれたのが、小型・軽量なのに一眼レフ並みのクオリティをもっている、X-M1なんです」

最初はファインダーがないことに若干の戸惑いもあったそうですが、今ではすっかり撮影に慣れ、X-M1ならではの個性と軽快さを楽しんでいるとか。

究極の色再現 富士フイルムのこだわり

独自の「X-Trans CMOS」センサーは一眼レフをも凌ぐ高解像度。もちろんフィルムメーカーならではの色再現は他のXシリーズと同じく定評があります。そんな画質への信頼だけでなく、その江さんに写真を撮る喜びを再認識させたのが、高画質な写真を一瞬でシェアできる、かんたんスマートフォン送信機能。

「お気に入りの画像は、カメラの上部にあるWi-Fiボタンを押せば、すぐにスマートフォンやタブレット端末へ画像を送信できるんです」

X-M1で撮影を楽しんでいる、その江さんの作品に興味をお持ちになった方は、ぜひその江さんのフェイスブックやブログをのぞいてみてください。その江さんのみずみずしい感性と、究極の色再現を追求してきた富士フイルムならではのこだわりにうなるはずです。

足元に咲いている小さな花が愛らしかった。27㎜のレンズの描写力とボケ味、そして生き生きとした植物の緑を出すためにフイルムシュミレーションをVelviaにして鮮やかさと可憐さを表現してみました。フジフイルムX-M1、XF27㎜F2.8、F3.2、1/2000秒、ISO200、－1/3EV

こんな写真撮ってみませんか？
それならこのカメラ

プロの金言

写真を趣味とするならば、やっぱり本格的なカメラで!

「最近はカメラよりもスマホやケータイで写真を楽しむ人が増えているようですが、写真を趣味とするならば、やっぱりカメラで高画質な写真を撮影したいものです。今回ご紹介したX-M1は、一眼レフ並みのクオリティとスマートフォン送信機能を両立したカメラなので、初めて本格的なカメラを使用する方にも、これからブログやSNSを始めたいと考えている写真愛好家の方にもおすすめ。これまでウェブの世界に敷居の高さを感じていた人も、この機会にぜひ新しい世界を体験してみてはいかがでしょうか」

その江さん愛用の
FUJIFILM X-M1 ダブルレンズキット
（「XC16-50mmF3.5-5.6 OIS」「XF27mmF2.8」のセット）
PCC 会員限定 1名様にプレゼント!

下記QRコードを読み取ってご応募ください。QRコードが読み取れない場合は、「npopcc」で検索してPCCホームページから、またはFacebookフォトカルチャー倶楽部ファンページからご応募ください

X-M1をもっと知りたくなったら
X-M1 検索

応募締切：2014年1月31日（金）
応募先
※今回はウェブからのみの応募となりますので、あらかじめご了承ください

少し早めの
またFUJIFILM Xシリーズをご購入いただいた方には
「Xシリーズお年玉キャンペーン」を実施

最大¥10,000 キャッシュバック
ご購入対象期間：11月1日（金）～2014年1月14日（火）
お申し込み締切：2014年1月31日（金）当日消印有効
キャンペーン対象商品：X-M1、X-Pro1、X-E2、X-E1、X-A1
※詳しくは店頭又はホームページ参照下さい。→ fujifilm.jp/x_cb_cp/

その江（そのえ）
新潟県出身。東京造形大学卒業後、荒木英仁氏に師事する。2003年「LightInguz」を設立し独立。独自の視点・感性で撮る広告写真などで活躍。スイーツから風景までオールマイティな写真家として、カメラメーカーなどからの依頼も多数。近年の写真セミナーでは、「ハートで撮ること」の大切さを改めて伝えている。公益社団法人日本広告写真家協会会員。
その江さんのブログ　http://sonoe.jugem.jp/

思い出シリーズ1

思い出づくり相談室

お客さまなんでも相談室
冬。イルミネーションや夜景を撮るには、何がいる？・編

カメラのキタムラコールセンター『お客さまなんでも相談室』その名の通り、カメラや写真のことならなんでも相談できます。今回は、夜景撮影のポイントについて答えてもらいました。

冬になると、全国各地で鮮やかなイルミネーションで街中がデコレートされるイベントが催されます。夜に浮かび上がる数々のイルミネーション。まさに絶好の撮影スポットのひとつでしょう。

しかし、イルミネーションをきれいに撮るにはどうしたらいいのでしょう？　自分が持っているカメラできれいに夜景が撮れるのでしょうか？　といった相談をよく受けます。今回はそういった方のために、夜景を撮影するときのポイントについて、いくつかお答えします。

クロスフィルターでキラキラとした写真が撮れます

Q1 夜景撮影に欠かせない道具ってありますか？

A1 しっかりと固定できる三脚を使用して、撮影することをおすすめします

夜景の撮影はどうしても、暗いところでの撮影になりますので、ISO感度を上げても高速シャッターで撮るのが難しくなってしまいます。せっかくのきれいなイルミネーションもブレてしまっては台無し。そうならないためにも、しっかりとした三脚を用意しましょう。低速シャッターでもブレのない写真が撮影できます。

三脚で固定してブレを防ぎましょう

また、レリーズやリモコンを使用することもシャッターを押したときに起こるブレを防ぐことができるのでおすすめです。とくにバルブ撮影する場合、レリーズは必需品です。

レリーズやリモコンもバルブ撮影では必需品

Q2 イルミネーションをきれいに撮るには、どんな道具が必要ですか

A2 クロスフィルターを使えば、光の輝きをより強調することができます

どんな作品を撮りたいかにもよりますが、イルミネーションを撮るときに活躍する道具のひとつに「クロスフィルター」があります。クロスフィルターはイルミネーションなどの灯りをよりキラキラと強調するので、幻想的な演出をするのに最適なフィルターといえます。

クロスフィルターをよく見ると、透明なガラスの表面に細い線状の溝が規則的に入っています。光はこの溝に沿って伸び、放射状の明るい筋ができます。こうして光の点がクロス状に延びて写ります。

またカメラ機材ではありませんが、これからの寒い季節には指先がすぐに出せるカメラ用グローブが重宝しますよ。

クロスフィルターはレンズの前面につけて使います

答えてくれた人　カメラの達人

中田孝義さん

東京の日本橋店、八重洲店、横浜のモアーズ店など新品・中古カメラの取扱店店長を歴任。フィルムからデジタルまでカメラ機材のスペシャリスト。もちろん機材だけではなく撮影方法もご案内します！

お客さまなんでも相談室
PCC会員専用コールセンター
☎050-3033-0066
受付時間10:00～20:00 年中無休

http://www.kitamura.jp　カメラのキタムラ　検索

思い出シリーズ2

思い出づくり研究所

期間を区切って実験
「好き」「きらい」をテーマに撮って、これからの自分の課題を発見

PCCのシンクタンクである思い出づくり研究所では、さまざまな思い出の残し方について調べています。今回の実験は、新たに加わった女子学生の研究員が、「テーマ」に基づいて日常を撮影。その写真から自分の内面を考察しました。

思い出づくり研究所ではふたつの目標を持って実験を進めています。大きな目標は、思い出を有効活用して幸せになること。小さな目標は、今まで気づかなかった自分の一面に気づくことです。

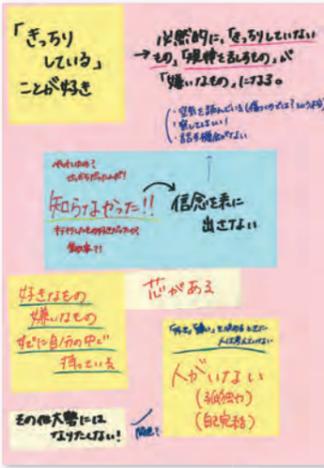
前回は1か月間で「自分の好きなとき」「心が動いたとき」に写真を撮り、その中から「今月の10枚」を選んでそこから読み取れるその人の価値観などを分析しました。選んだ写真からはその人の「大切にしていること」や、写真を見て分析するまで「自分では気づかなかった一面」を知ることができました。今回は、さらに新たな自分の一面を知るために、テーマを決めて撮影、その写真を分析してみました。

撮るテーマは「好き」「きらい」

2週間、「好き」「きらい」をテーマにしたモノ・コトを撮影し、プリント。そのプリントの中から、「好き」「きらい」だと思ったコトやモノが写っている写真をそれぞれ5～10枚ずつ選びました。選んだ写真を研究員全員で回覧し、写真について質疑応答のセッションをします。質問者は「いつから好きか」「きらいなことの中で、好きになりたいことはあるか」「好き・きらいの写真の中で、これは自分らしいというものがあるか」などの質問をします。結果、撮影者はその質問に答えながら、自分の感情を整理し、新たな自分を発見することができました。

人から見た自分の印象とのギャップが、写真で一目瞭然

研究員の阿部有美さんの場合は、写真を見た同級生から「せっかちだったんだね」「ペットがいたとは知らなかった」と、周りから見たら「意外な一面」になるような写真を多く選んでいました。これらの意見を分析すると、「阿部さんは信念を表に出さない」という印象を他人から持たれていることが発覚。このセッション後に阿部さんは「言葉に出さない分、表情や態度で気づいてほしいと自分が無意識で思っていたことに気づいた。『何を考えているのかわからないことがある』と言われるのは、自分から発信しないから。『知らなかった自分』を知ってびっくりした」と語っていました。

●研究員 阿部さんの場合

自分の撮った写真からわかることや、研究員から言われた印象的なコメントを中心に「キーワードマップ」を作成。自分の大切にしたいことを導き出す

好き：15年近く一緒に住んでいるペットのカメを撮影。しかし、友達になって3年の同級生もペットがいることを知らなかった。聞かれるまで、自分から自分のことを話すのは少ないそう

きらい：「せっかちなので、ホットケーキが焼けるのが待てない」と、これを「きらいなこと」として撮影。他にも人から見ると「意外な一面」になる写真が多かった

自分で気づくことを大切にするため、他の研究員は撮影者に対し質問だけで話しかける。左から研究所メンバーの本田技研の榊 秀憲さん、阿部さん

まとめ

- テーマに基づいて日常を撮影すると、自分のことが「見える化」されて、自分の整理になる
- 周りの人が自分をどう見ているかが発見できる
- テーマのある写真から「新たな自分の一面」に気づくことで、自分の大切にしたいことや今後の目標を考えることができる

思い出づくり研究所とは

PCCのシンクタンクである思い出づくり研究所とは、早稲田大学の大野髙裕教授を所長に、思い出の残し方について調査・分析・考察し、その重要性について情報発信していく研究室です。

思い出マイスターが写真整理の悩みを解決！

1年の思い出を「イヤーアルバム」でらくらく整理

カメラのキタムラ各店には、思い出の残し方について要望別でアドバイスしてくれる〝思い出マイスター〟がいます。今回は、〝思い出マイスター〟佐藤さんに、1年の思い出を簡単にまとめる方法を教えてもらいました。

思い出マイスター
佐藤卓さん
（カメラのキタムラ横浜・港北東急SC店）

一年で撮りためた写真を一冊にまとめませんか　「少しずつ少しずつ」 本田江里さん

──いよいよ年の瀬が差し迫ってきました。この1年で撮りためた写真を簡単に整理したいのですが、何かよい方法はありますか？

写真は1年の思い出を何よりも鮮明によみがえらせる手立てとして役立ちますよね。しかし、撮ったままにしておくと、整理するのがどんどん面倒に感じるのも事実です。そこで、私は「イヤーアルバム」をおすすめします。イヤーアルバムは、ソフトが勝手に写真を選んでアルバムにしてくれるので、誰でも簡単に写真を整理できます。

──というと？　具体的にどうすれば、いいのでしょうか？

イヤーアルバムは、もちろんカメラのキタムラ店頭でもつくることができます。自宅でイヤーアルバムをつくりたい方には、自宅のパソコンでつくることができます。「イヤーアルバム直行便」というソフトをインストールして、そのソフトを使えば、外に出ることなく家の中で簡単に注文・作成できるんです。

ソフトのインストールは簡単。パソコンで「イヤーアルバム」と検索してください。その検索結果から、カメラのキタムラのホームページにアクセスして、ダウンロードします。ダウンロードできたらソフトを起動して、まず自分が撮影した写真の中からアルバムに使用したい写真が入っている期間を設定します。次に写真データを保存している場所を設定し、最後にアルバムのページ数を決めます。たったこれだけの作業でアルバムができるのです。

──これだけ聞くと、確かに簡単な作業のようですけど……

イヤーアルバムのすごいところは、じつはここからです。ここまで設定すると、ソフトがピント・明るさ・構図などの撮影条件や表情、視線の方向までも画像データを解析して、いい写真を自動でセレクトしてくれるほか、大きく配置してくれるなどのレイアウトまで引き受けてくれるんです。セレクトした画像をレイアウトする時間は、わずか5分ほど。あとから写真の変更や入れ替えもできるので、ご自身でのレイアウトも可能です。スタンプ機能もあり、こだわってつくりたい方はレイアウト後に編集すればOK。また、予算に応じて写真の数やページ数を選択できるのもうれしい点です。パソコン上で注文すると約1週間後に仕上がります。

──本当に便利で簡単にアルバムができるんですね。驚きです。

この年末年始の休暇を利用して、ぜひイヤーアルバムで写真の整理をしてみてください。この1年をゆっくりと振り返るいい機会にもなり、毎年続ければ家族の思い出が本棚に増えていく楽しみになるはずです。

思い出マイスターは胸元に「思い出マイスターバッジ」をつけています。ぜひカメラのキタムラで見かけたら声をかけてみてください

こんな人におすすめ！　イヤーアルバム

1. たくさん撮りためて整理ができない！

「イヤーアルバム」は、アルバムで使用したい写真が入っている期間を入力するだけでソフトが自動でいい写真を選択、レイアウトまでしてくれます。これなら撮りためた写真もあっという間に整理できます。

「イヤーアルバム」は使用する写真の期間を設定してその中から写真を自動でセレクト

2. アルバムをつくりたいけど時間がない！

「イヤーアルバム直行便」を立ち上げて、期間を設定、ページ数の選択、レイアウトまで最短5分でできます。レイアウトが完了した写真を確認してOKであれば、そのまま注文できます。これなら時間のない人でもつくれます。

全体のレイアウトが見れるので、アルバム内の流れも確認できます

3. どの写真を選べばいいのかわからない！

「イヤーアルバム」なら、ピント・構図・明るさなどの撮影条件や表情、視線の方向などをソフトが大量のデータの中から解析して、いい写真を自動的に選んでくれます。これなら写真選びに悩んでいた人も簡単につくれます。

各ページのプレビューイメージが確認できます。こだわってつくるならレイアウト変更もできます

つくり方は簡単

パソコンで「イヤーアルバム」と検索して、カメラのキタムラのホームページから「イヤーアルバム直行便」をダウンロードしてください

ダウンロードが完了したら、「新しいアルバムを追加する」をクリックすると作成できます

思い出シリーズ 4

思い出の残し方2通り

もらった年賀状、どうしていますか?

思い出深い年賀状をデータで残す

友人たちからの年賀状は、日々忙しく過ごしている身にとって、安らぎを与えてくれる貴重な便りです。ただ、年々増えて保存する場所に少し困ってしまうのも事実。今回は、そんな思いが解決できる便利な保管方法をお教えします。

データ化すればすぐに見れます
「マイ バディ」ジャクソン ランディさん

年賀状保管が楽になる「宛名データ化サービス」で思い出の1枚も大切にデータ化

年賀状をデータ化して簡単に保管

親しい友人や知人などの近況を知るのに、毎年のやり取りが楽しみな年賀状。とくに写真が印刷された年賀状は、友人の結婚や子どもの誕生報告、生まれた子どもの成長の様子などがわかり、もらった人は思わず笑顔になってしまいます。

ところでその年賀状、整理はどうしていますか? 束にして、そのまま押し入れや棚にしまっている人が多いのではないでしょうか。年々たまって場所をとられていくけれど、かといって処分するのも気が引ける……。何かいい収納方法はないかなぁ、と考えている人も多いと思います。そんな思いを持つ人に、今回は年賀状保管が楽になる方法をお教えします。

それは、はがきの両面をPDFにデータ化するとともに、宛名をCSVファイルにデータ化して住所録にできるカメラのキタムラの「宛名データ化サービス」。これなら年賀状をデータで保存できるので、いつでも簡単に思い出を振り返ることもできます。さらに、住所録を活用することで、年賀状を作成するときに過去の年賀状をひっぱり出して、一枚一枚住所を確認する必要もなくなります。忙しい年末の時間を無駄にしない、まさに一石二鳥のシステムです。

自分の歩みを見返し、交遊録としても活用

また、友人からの年賀状だけでなく、自分が送った年賀状もデータ化しておけば、自分がここまで歩んできた時間の経過を見返す貴重な情報にもなり、そのときの交遊録としても活用できます。この機会に、年賀状をデータ化してみてはいかがでしょうか。思い出がより身近に感じられます。

自分でつくった年賀状もデータ化できます

宛名データはCSV形式で住所録に。来年の年賀状づくりもらくらく

もらったたくさんの年賀状がデータ化できます

「宛名データ化サービス」の特徴

1. はがきの両面がPDFデータ化できる
2. 宛名データはCSV形式で住所録に
3. 店頭で受け付け、仕上がりはお店受け取りで約1週間

子どもの節目を思い出に残す

新たな旅立ちのとき入園・入学の思い出を残す

入園・入学を控え、これから何かと慌ただしくなってくる時期には、余裕を持って早めに記念撮影をすませるのがオススメです。そこでPCCでは、入園・入学の思い出をしっかり残せるスタジオをご紹介します。

家族の新たな門出を早めにスタジオで撮影

まだまだ先のことと思っていたら、あっという間にその時期が……。3月、4月に入園・入学を控えている子どもがいる親の皆さんにとって、これからの季節は思いのほかときが経つのを早く感じるものです。

子どもの節目は家族の節目でもあります。でも年が明けると、ご家族の予定も何かと慌ただしくなり、思うように時間もとれません。

そこで、子どもの新たな門出を家族と、ひと足早くスタジオ撮影で写真に残してみませんか。

入園・入学する幼稚園、学校の制服で撮ることもできます

衣装を何回着替えても無料プレミアムセットも充実

PCC特別賛助企業のスタジオマリオでは、毎回ご好評いただいている「入園・入学キャンペーン」を今回も2014年の2月より実施します。

この期間、入園・入学の記念で撮影をする皆さまには、通常よりもお得な料金になる「入園・入学プレミアムセット」を用意しています。

また、こちらで取り揃えている約400点におよぶ制服や可愛いドレスなどは、何回着替えても無料。子どものうれしそうな笑顔を演出してくれます。

さらに、商品として購入したすべての写真をCDに焼いて、その場で買うことができるのもマリオならでは。

プロのカメラマンによる撮影だから、その出来栄えに大満足すること、間違いなし。ぜひ、スタジオマリオを利用して、家族の節目となる大切な一枚を残してみませんか。

サービスの詳細は、お近くのスタジオマリオまでお問い合わせください。

家族でいっしょに撮影しても、撮影料金はかわりません

「マリオフォトCD」を購入すれば、入園・入学の写真がパソコンなどで見られます

年3回発行のスタジオマリオのフリーマガジン。全国の店舗でもらえます

スタジオマリオの入園・入学撮影ここがお得

1. お買い上げ金額に応じてプレゼントあり
2. 撮影用の衣装は何着でもお着替え無料
3. 何ポーズ撮っても同じ撮影料

※店舗により衣装は異なります。詳しくはお近くの店舗までお問い合わせください。

街中すべてが写真の主役

被写体大辞典 第11回

冬編

被写体大辞典では、街中に、家に、身近なところに隠れている被写体をご紹介します。今回は雪や氷を紹介。同じ白い雪でも、「どう感じたか」によってさまざまな表現があります。

大森隆一さん

透き通った氷柱【すきとおったつらら】

冬を感じる氷柱や雪。野鳥撮影は、季節を感じるものを一緒に撮影するだけで、一段と野鳥も引き立ちます。大森さんのように光に注目すると氷柱がキラキラと表現できますね。

凍った滝の雫【こおったたきのしずく】

自宅の裏山にある小さな滝で撮影されたもの。滝の落ち口にある岩の上に雫が跳ねて、氷の玉ができていたそうです。陽が昇る前に撮るのがコツです。

林　昌尚さん

石仏【せきぶつ】

「雪は露出補正プラス」と決め込まず、「朝陽が少し当たる瞬間に感動」を表現する露出で撮影するのがポイントです。

杉浦　勝さん

雪帽子【ゆきぼうし】

雪が桜の花に帽子をかぶせました。フラッシュ撮影で、光を弱く当てたので雪の透明感や桜のピンク色が表現できました。

古川明弘さん

古い木と陰【ふるいきとかげ】

雪に埋もれた木。木の陰が雪に映る様子を出すために、露出補正をマイナスに調整しています。

青木　薫さん

規則的な屋根瓦【きそくてきなやねがわら】

ビルの上から街の屋根を撮影。どこからどこまでを写真で切り取るか、構図を工夫しています。屋根瓦の並びが規則的でおもしろいですね。

小笹　剛さん

春を待つ動物【はるをまつどうぶつ】

雪の中で草を食べているところを、じっと待って撮影。白い雪に動物が浮き立ちます。この作品のように、雪を白く見せたいときには露出補正をプラスにします。

曾我鳥吉さん

冬の花【ふゆのはな】

「真冬とは思えないような色鮮やかな花。探してみるものだなと思いました」と園部さん。被写体探しは集中力と根性かもしれません。朝の散歩も、少しコースを変えてまわってみてはいかがでしょうか。

園部直樹さん

めずらしい雪【めずらしいゆき】

何年振りかの名古屋の大雪。そんな日は、朝早く足跡のついていない雪道をねらうのがポイント。

林　裕之さん

江戸時代の茶室【えどじだいのちゃしつ】

光と影のコントラストを表現。昔の建物に雪はよく似合います。

渡邉源一さん

わたし色の写真の撮り方

第5回「ゆるかわ」なぬくもりのある冬の撮り方

ナビゲーター・きょん♪さん

「みんなで新しい写真体験を！」。みなさんご存知ですね。PCCのスローガンです。ゆるかわ写真家・きょん♪さんの撮影に対する心構えやテクニックの連載 第5弾。最近話題の撮り方で「新しい写真」を体験してみませんか。

「ゆるかわ」とは…… 「ゆるくて・かわいい」の意味。がんばり過ぎていないかわいさ、穏やかでナチュラルなテイストのことをいう。

青みを加えて冬の寒さを、ピントを合わせないことでほわっとした温もり感を表現しました。
羽の柔らかさや湿度までも伝わってくるような、そんな気がしませんか？
オリンパスE-M5、NOKTON 25mm F0.95、F0.95、1/400秒、＋1.7EV、ISO400、ホワイトバランス補正で青みを追加

きょん♪さんの写真をもっと見たい方は、PCCのフォトライフ四季ホームページもチェック

PCCのフォトライフ四季ホームページには、本誌に載せていないきょん♪さんの写真も掲載しています。下記のURLにアクセス!

PCCのフォトライフ四季ホームページ

http://www.npopcc.jp/aaa/shiki/

冬は素敵な風景を探す季節

今年もいよいよ冬の足音を感じる時期になりました。皆さんは冬にどんなイメージをお持ちですか。私は、というと…。

以前は、この時期になると、周りの景色に色味が少なくなって、あまり写真を撮りに行く気持ちになれないなぁ、と思ったりしていました。でも、二年前の冬に訪れた北海道で、そんな思いに変化が訪れます。思わずため息が出るような雄大な風景を前にしながら、私が無意識にレンズを向けていたのは、足元に顔を出していた小さな草花でした。そのとき、なんでもない風景にこそ、惹かれてしまう自分を発見したのです。以来、冬は私にとって素敵な風景を探す楽しみがある季節になりました

思えば、私の写真は身近なものへの視線がテーマになっているようです。それだけでできあがっている冬の風景もいいけれど、なぜだか人の目があまり向かない情景にこそ、感情移入してしまいます。

この作品もそんな思いから生まれた一枚。インコが二羽くっついて、柔らかなひとつのかたまりになっている姿に出会い、シャッターを切りました。身を飾るにじむように淡い赤と黄色、羽毛のほわほわほわほわとした様子に、かえって冬を感じてしまって…。一般的な冬のイメージではないかもしれないけれど、これも私の冬なのです。

きょん♪
「ゆるかわ写真」の第一人者。ブログ上で作品を発表していたことがきっかけで、写真講師や書籍の執筆をするようになる。一児の母でもある。Atelier photo *chocot主宰。著書に『はじめての「ゆるかわ写真」レッスン』（技術評論社）、『子ども写真の撮り方手帖』（毎日コミュニケーションズ）ほか。

●ブログ
カメラ女子「きょん♪」の簡単ステキ写真術
http://camera.na-watashi.com

PCCのプレミアム会員になると
著名写真家の撮影テクニックも学べる
『フォトコンライフ』を年4回お届け

詳しい会員申し込みはP46へ

写真は"着眼点"

『フォトコンライフNo.56』2013年冬号 12月9日発売

写真：萩原史郎

巻頭特集
「写真は"着眼点"」
『フォトコンライフ』巻頭特集は、テーマに沿って写真家が様々なシーン別の撮り方を細かくレクチャー。今回は「着眼点」。大西みつぐさん、川合麻紀さん、萩原史郎さんの3人の写真家が撮るそれぞれの冬景色を見開きで大きく見ることができます

『フォトコンライフ』は全掲載作品を選評つきでおくる
フォトコンテスト専門マガジン。うれしいDVDつきです
全国の書店やカメラのキタムラ店頭でもお求めいただけます

双葉社刊 〒162-8540 東京都新宿区東五軒町3-28 TEL:03-5261-4818（営業） http://www.futabasha.co.jp

『フォトコンライフ』
付録DVDを覗き見

栃木県日光市の菖蒲ヶ浜で男体山から昇る朝日や吹雪の中の男体山をねらいました

佐藤流・冬景色撮影は露出を変えてハイライトをきれいに

厳冬の中での撮影は臨機応変に対応する

2013年2月早朝、佐藤さんが撮影に訪れたのは、栃木県日光市中禅寺湖の畔、菖蒲ヶ浜。気温零下13度、肌を突き刺すような寒風の中、旧知の仲である地元の写真家・高野康夫さんとともに、男体山から昇る朝日に映える風景をねらいます。

「朝の光は写真の神様。ただし、朝日が完全に顔を出すと光が強くなってしまうので、その前に撮影することが重要です」

湖水に入って向かいの山や、雪面に伸びる木の影を撮影するなど、佐藤さんは積極的に撮影ポイントを変えていきます。

奥日光三名瀑、湯滝では、「ハイライトをきれいに出すのが、私流。なので、必ず露出を変えて複数枚撮影します。ちょっと暗いかな、程度の露出に設定するほうがいいですね」

栃木百選に選ばれている景勝、光徳沼では吹雪のため、マニュアルでピントを合わせ、レンズを雄大な男体山に。状況に応じて撮影条件や構図を臨機応変に変えることが大切だと、佐藤さんは教えてくれます。

DVDにはこのほか、機材の紹介などもあって、佐藤流冬景色撮影のテクニックがいっぱい。続きをぜひご覧ください。

佐藤さん（左）と高野さん（右）で気温零下13℃の早朝に撮影場所を探しました

佐藤仁重（さとう・ひとえ）
東京都生まれ。
1985年から写真教室を主宰し、卒業生は2500名を超える。
自然風景写真を中心に撮影し、指導のほか、
各種写真雑誌などで執筆するなどの活動をしている

ただいま制作中

芳賀日向さんの夏の祭り撮影術

『フォトコンライフ』No.58の特別付録DVDには、祭り写真家・芳賀日向さんが出演予定。福島県南相馬市でロケをしました。芳賀さんは祭り撮影をどのようなテクニックで教えてくれるのでしょうか。No.58のDVDをお楽しみに。

今年はどんな年賀状にしますか？

つくったら、もらったら送ろう

年賀状は送るギャラリー 写真年賀状コンテスト2014

デジタルカメラやスマホの普及で、より写真が身近になってきました。普段はインターネットで伝えている「今」を写真年賀状で伝えませんか。

写真年賀状でもっと普段が伝わる

写真年賀状は、イラストだけの年賀状より多くのことが伝えられます。ひと目で友人や知人の結婚や出産、子どもの成長など相手のいろいろなことが分かり、メールやSNSでは瞬間的にしか伝わらないことが、写真年賀状ではしっかりと記憶に残り、伝わります。また、普段の生活で撮った写真を使えば、近況がより身近に感じられますね。

写真年賀状コンテスト2013
グランプリ　小川光洋さん

書き損じもOK もらった年賀状もOK

年賀状は届いて嬉しいだけでなく、相手の現在が自然と分かります。インターネットが普及した今の時代でも、日本人には欠かせないもののひとつです。

PCCが後援する「年賀状写真コンテスト2014」では、そんなもらって嬉しい、送って喜ばれた写真年賀状を募集してコンテストを開催します。家族の集合写真や旅先で撮った思い出のあるものなどジャンルは問いません。

応募する年賀状は、書き損じてしまって、出せなくなってしまったものでもOK。さらに、もらって嬉しかった年賀状でもお送りいただけます。もちろん、お店で注文した写真年賀状でも自分でつくった写真年賀状でもどちらでも応募できます。今年は友人や知人に送る年賀状に加えて、写真年賀状コンテストに応募してみませんか。

写真年賀状コンテスト2013
「写真年賀状」大賞
東京都／今泉貴裕さん

[WOW!感]

「おもしろい」「すごい」などおっと驚くWOW感は、見る人を幸せな気分にしてくれます

大阪府／安田圭吾さん

[現在感]

写真は、見る人に「今」を伝えられます。テーマを絞れば、より伝えたいことがストレートに伝わります

静岡県／増田恭之さん

[言祝ぎ感]

年賀状に入れる新年の挨拶をより印象的に。複数の写真を組み合わせればメッセージ性も高まります

岡山県
銭本　功さん

2014年1月25日(土)

[賞金・賞品]

1 グランプリ……………1名 現金3万円
2「写真年賀状」大賞…1名 賞品2万円相当
3「WOW!感」賞…………3名 賞品2万円相当
4「現在感」賞……………3名 賞品2万円相当
5「言祝ぎ感」賞…………3名 賞品2万円相当
6 企業賞13本……………各1名 賞品1万円相当

発表(2014年3月10日)

●『フォトライフ四季 Vol.88』
●『フォトコンライフ No.57』(双葉社)
●年賀状普及協議会ホームページ
●PCCホームページ
●応募について
もらった年賀状は封筒に入れてお送りください

応募先・お問合せ

〒160-0004
東京都新宿区四谷4-28-20-205
「写真年賀状コンテスト」係
☎03-3356-3552(平日10:00～18:00)
年賀状普及協議会 検索

●写真年賀状コンテストの主催、後援、特別協力、協賛社は入賞作品を無償で使用する権利を有します。●年賀状の送り主や写っている人には必ず許可を得てください。●応募作品の著作権は撮影者(応募されたお客さま)に帰属します。●入賞作品は以下の目的で使用します(発表誌面への掲載、年賀状普及協議会の広報宣伝物への掲載、作品展での展示)。●入賞発表時、個人情報はふせて掲載します。●応募作品の返却はいたしませんのでご了承ください。

[主催]年賀状普及協議会　[後援]毎日新聞社　NPO法人 フォトカルチャー倶楽部
[特別協力]カメラのキタムラ&スタジオマリオ
[特別協賛]富士フイルム イメージングシステムズ株式会社　日本郵便株式会社　おもいでばこby株式会社バッファロー
[協賛]株式会社 岡村製作所　株式会社 フレームマン　株式会社 Tポイント・ジャパン　キヤノンマーケティングジャパン株式会社　株式会社ケンコー・トキナー　クラブツーリズム株式会社　コクヨファニチャー株式会社　スターツコーポレーション株式会社　日刊スポーツ新聞社　ハクバ写真産業株式会社
※順不同

JPO Japan Photocontest Organization

フォトコンテストのための協会ができました

日本フォトコンテスト協会がフォトコンテストの普及と振興のお手伝いをします

Q1 日本フォトコンテスト協会(JPO)って何？

A1 全国のフォトコンテストを応援し、新しいフォトコンテストが全国各地で開催されるように支援する団体です。目標をもって撮影する楽しさや、写真プリントの素晴らしさを改めて感じていただきたく設立しました。

Q2 どんなことをするの？

A2 フォトコンテストの企画・運営支援、写真展開催などを行います。主にフォトコンテストにかかわる情報を提供し、関連書籍の発刊も予定しています。あわせてフォトコンテストを支援する企業などもクローズアップしていきます。

2014年には第3回目となる「Gサミット」をJPO主催で開催します。Gサミットは、フォトコンテストの楽しさを伝え、グランプリ（最高賞）作品に出会うことで写真の素晴らしさを学べ、撮影やフォトコンテストへの応募を身近なものと感じてもらえます。

JPOが主催する写真展。グランプリ作品だけを集めます

各地のグランプリ作品が一堂に。多くの写真ファンに素晴らしい写真を見ていただきたい。
すごい写真を、見て・学べて・出会えるGサミット2014

開催決定!!

Gサミット2014写真展

開催日：2014年6月7日(土)～27日(金)
開催場所：東京 日比谷公園「みどりのiプラザ」

「Gサミット」これまでの活動

2012年 『フォトコンテスト必勝の極意』を出版
好評発売中(双葉社)1,785円(税込)
内容：グランプリ受賞作品の掲載／フォトコンテストの必勝ポイントを収録／受賞者の撮影テクニックやノウハウを学ぶ

2013年 『フォトコンライフ No.54』DVDで参加作品発表
双葉社より発刊されている写真雑誌『フォトコンライフ』の付録DVDで、Gサミット2013で展示した全作品を紹介しました

「Gサミット2014写真展」募集要項

募集締切：2014年2月28日(金)※当日消印有効
出品無料(プリント代と送料はご負担ください)
対象：2013年1月以降にグランプリ、県展賞、金賞などの最優秀賞を受賞された作品。行政、企業、各種団体などが主催するフォトコンテストのグランプリ作品が対象です。WEB上でのフォトコンテストは対象になりません
※公序良俗などに反する作品は、展示や掲載を見送る場合があります。
プリントサイズ：A4/4切/W4切のフチなし

応募方法：作品に下記を添えて同送ください
※ホームページから応募用紙をダウンロードできます
①お名前(フリガナ)②年齢③郵便番号、住所④電話番号⑤受賞したコンテストの名称⑥受賞名⑦主催者⑧受賞年月⑨作品タイトル
※作品は返却いたしません
※必要に応じて主催者、受賞者に事前に了承を取ってください。
※作品は展示や本、印刷物、WEBなどに使用します。

お問合せ・送付先：
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-20-205
一般社団法人 日本フォトコンテスト協会
「Gサミット2014」係
☎03-3341-6939(平日10:00～18:00)
主催：一般社団法人 日本フォトコンテスト協会
後援：NPO法人 フォトカルチャー倶楽部
特別協力：カメラのキタムラ＆スタジオマリオ

※写真はGサミット2013の様子です。日程、内容は予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

詳しくは 日本フォトコンテスト協会 検索
※12月上旬開設予定

今後、JPOはこんな活動を予定しています

写真ファンへ

フォトコンテストを身近に感じてもらえるように
- WEBサイトで、全国のフォトコンテストグランプリ作品を公開、コンテスト応募方法のQ＆Aや応募のコツを掲載
- フォトコンテスト応募のコツセミナーを開催
- 審査員フォーラムを開催。疑問を解決、応募のヒントも

フォトコンテスト主催者へ

全国のフォトコンテストをもっと盛りあげるために
- 「Gサミット」や雑誌「フォトコンライフ」などでの応募告知で継続を支援
- フォトコンテスト審査員の紹介
- これからコンテストを開催される団体・企業へ運営ノウハウを伝授
- フォトコンテストをきっかけにしたセミナーや撮影ツアーをプロデュース

次ページも、イベントいっぱい

今年の冬はイベントもりだくさん。カメラを持って出かけよう！

PCCの撮影イベント

東京　これをやっていないと画像編集は的外れ かんたんカラーマッチング講座

カラーマッチングで写真のプリントがもっと楽しくなります

講師　廣田充孝先生
イメージビジョン（株）

日程　**1月25日（土）東京・代々木**　13:00〜15:00
専用の機材を使い、簡単にカメラの液晶とパソコンのモニターの色を合わせるカラーマッチングのテクニックが学べます

東京　新宿御苑の達人に学ぶ 新宿御苑の四季撮影講座—桜編—

平日開催

新宿御苑は桜の名所としても有名です。撮影会初参加の方も大歓迎です

講師　木村正博先生

撮影：木村正博

日程　**3月28日（金）「撮影実習」新宿御苑**　13:00〜16:00
1年間かけて紅葉、桜、バラ、新緑、花、温室を撮影し、新宿御苑を堪能していただく撮影会です。今回はその第2回目です

東京　PCCならではの撮影イベント。今回は二部屋で開催 相撲部屋　稽古場見学＆撮影会

1 貴乃花部屋（東京・中野新橋）15名限定
2月上旬　7:00〜9:00予定
2 時津風部屋（東京・両国）10名限定
1月上旬　7:00〜9:00予定
※開催日は稽古の状況により決定するため、12月16日（月）にPCCのホームページ、Facebookでご案内いたします。インターネットをご覧いただけない場合は、16日以降にPCC事務局へ電話でお問い合わせください。

参加費：各PCC会員 8,500円、一般 10,000円

[お申し込みについて]
人気イベントのため、12月18日（水）昼12時より受付開始。お申込方法はP33をご覧ください。（インターネット、FAX、電話すべて先着順）

撮影：PCC事務局

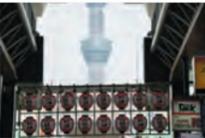
●注意事項●
講師はつかず、三脚はお使いいただけません。稽古の進捗状況によっては時間が短くなる場合があります。音をたててしまうと稽古に支障をきたします。これらをお守りいただけない場合は途中退出をお願いする場合がございます。また、クラブツーリズム協同開催のため、同時募集となります。各定員はPCC受付分の定員です。稽古の状況によっては中止になる場合がございます

東京　写真撮影の基礎が学べる もっと写真を楽しむ写真講座

初心者歓迎

参加費：PCC会員 1,000円
一般 1,500円

コンパクトカメラの方も大歓迎です

講師　工藤康雄先生

撮影：工藤康雄

日程　**2月9日（日）浅草周辺**　10:00〜12:00
カメラを買ったばかり、撮影会や教室に行ってみたい、そんな方におすすめの撮影教室です。前回参加の方もご参加いただけます

現地の良さをあなたの写真で伝えませんか

雑誌『旅行読売』現地カメラマンを募集

雑誌記者に同行撮影して あなたのナイスショットを

PCCでは旅の専門誌『旅行読売』とのコラボ企画で「現地カメラマン」を募集します。内容は、記者に同行して取材先の風景や料理、旅先で出会った人など、現地の臨場感が伝わる写真を撮影してもらいます。

写真好きで、旅好きな方大歓迎。現地のすばらしさをあなたの写真で伝えてみませんか。

詳しくは下記応募要項をご覧の上、ご応募ください。

PCCフォトインストラクターも活躍

『旅行読売』連載
「旅の写真　うまいのコツ」

月刊『旅行読売』では、PCCフォトインストラクターが旅好きの人に写真の撮り方を教える「旅の写真うまいのコツ」を連載中。野鳥や紅葉、料理、イルミネーションなど季節ごとに「撮りたい！」と思うような被写体に注目して、それぞれの撮り方をお教えしています。

毎月2日発売ですので、ぜひPCCフォトインストラクターの活躍もご覧ください。

応募要項

[募集] 旅の専門誌・月刊『旅行読売』にあなたの写真を掲載しませんか？　記者に同行して、取材先の風景や料理、旅先で出会った人など現地の臨場感が伝わる写真を撮影します。

[資格] 年齢　20歳以上
※旅好きな方歓迎

[条件] 謝礼　8,000円〜／日
※内容などによって応相談
※撮影にかかる交通費などの経費は別途支給

応募締切：2014年1月31日（金）当日消印有効

応募先：〒160-0004
東京都新宿区四谷4-28-20-205
『旅行読売』現地カメラマン　募集係

問合せ：フォトカルチャー倶楽部事務局
03-3356-3552（平日10:00〜18:00）

現地カメラマン登録の流れ

1. PCC事務局に下記書類を郵送でお送りください。
①登録シート
PCCのホームページから登録シートをダウンロード。必要事項をご記入ください
※お送りいただいた書類はすべて旅行読売出版社に渡します
②風景写真2Lプリント5枚
※旅行読売に掲載されているようなイメージの写真をお送りください。プリントは返却いたしませんのであらかじめご了承ください
2. 旅行読売出版社による書類審査後、同社から審査結果および採用者へ契約書締結等の電話連絡があります。

※依頼ペースなどについては未定です。取り上げる地域・内容によって依頼予定です

その土地に行きたくなるような、場所の雰囲気がわかる写真を掲載しています

撮ったことのない写真に出会える

スポーツ写真家・水谷章人直伝撮影会

雪山＆スポーツ写真はこう撮る

冬の撮影、なかなか被写体を見つけられない方必見。スキー教室の講師として活躍するスタッフが、この撮影会のために滑ります。躍動感あるスポーツシーン、その感動的な一瞬を残してみませんか。

スポーツ写真はピントが合わなかったり、シャッターのタイミングがずれたりと、むずかしさは通常の写真撮影以上。奇跡の一枚を撮るために、50年以上のキャリアを持つスポーツ写真の第一人者、水谷章人氏にそのコツを学びます。

撮影のためだけにスキーのプロが滑ります　（撮影：水谷章人）

雪道を歩きます。スキー撮影は、スキーに自信がなくてもご参加いただけます。

講師：水谷章人
日程：2014年3月3日(月)〜4日(火)　1泊2日(現地集合・現地解散)
場所：長野県志賀高原　宿泊：シャレー志賀
料金：25,000円（1泊2食つき）　定員：13名（最少催行人員6名）
内容：1日目　事前講習／スキーヤー撮影／夜はホテルで講評会
2日目　自然風景撮影 ※内容は天候によって変更する場合があります。
スキーヤーモデル：オーストリアスキー教室スタッフ、Ski-estスタッフ

主催：くつろぎの高原ホテル シャレー志賀　後援：NPO法人フォトカルチャー倶楽部
協力：オーストリアスキー教室、Ski-est

お問合せ、申込み
シャレー志賀 ☎0269-34-2235
ホームページ http://www.shigakogen.jp/chalet/

東京 都会の被写体をデジカメならではの機能で写す デジカメマスター

光の写り込みや反射を活かした作品作りにも挑戦してみましょう

講師 種清 豊先生

撮影：種清 豊

日程

1月12日(日)「都会のイルミネーションを撮る」 丸の内周辺 16:00～18:30
2月中旬まで楽しめる東京丸の内のイルミネーション。東京の都会でさまざまなシチュエーションの撮影に挑戦しましょう

2月9日(日)「東京湾に沈む夕日を狙う!!」 葛西臨海公園 16:00～18:00
海浜地区に沈む夕日を、ゲートブリッジを背景にねらってみましょう。ホワイトバランスやデジカメならではのアートフィルターを使って撮影します（望遠レンズ必須）

3月9日(日)「写真コンテストで腕試し」 新宿文化センター 14:00～16:00
撮影した作品の中から1枚を選んでコンテストにチャレンジ。日ごろ撮りためている作品をご持参ください

広島 ステップを踏んでわかりやすく 作品づくり実践講座

初心者歓迎

基本をおさえると、撮影がますます楽しくなります

講師 小林弥生先生 倉本雅史先生

撮影：小林弥生

日程

1月19日(日)「作品づくり実践講座」事前講議 アステールプラザ 10:00～12:00
構図の決め方とレンズの選び方を中心に作品づくりの楽しさをお話します

2月23日(日)「撮影実習」 宮島水族館 10:00～12:00
『フォトコンライフ』連動企画。撮影ポイントのアドバイス、簡単な課題もお出しします

3月16日(日)「作品講評と撮影後の処理方法」 西区民文化センター 10:00～12:00
作品づくりのヒントと撮影後の処理方法について説明します

愛知 今よりもっと素敵な写真を デジタルカメラABC

初心者歓迎

4回のご参加でデジカメの基礎がひととおり身につきます

講師 佐々木勇先生

撮影：佐々木勇

日程

1月25日(土)「ステップ1 カメラの基本の使い方」 名古屋国際センター 13:30～16:00
ブレない写真の撮り方、撮影モードの設定および使い分け、レンズ・三脚の使い方などを教えます

2月8日(土)「ステップ2 写真撮影の基本」 日本ガイシフォーラム 13:30～16:00
絞り優先・ピンポイントフォーカス・露出調整等、写真撮影の基本をマスターしましょう

2月22日(土)「ステップ3 被写体の見つけ方」実習編 大須商店街 13:30～16:00
心の揺れる場所の見つけ方、見慣れた景色の中で、素敵な光を見つけよう！

3月15日(土)「ステップ4 素敵な写真の仕上げ方」 日本ガイシフォーラム 13:30～16:00
構図とは？　主役・脇役を理解しましょう

東京 事前講習・実習・講評会のセットでぐっと理解が深まります これで納得撮影術

暗い館内だからこそスローシャッターで流し効果を強調してみましょう

講師 服部考規先生

撮影：服部考規

日程

1月26日(日) 水族館で撮る「葛西でマグロを流す！」 葛西臨海水族園 10:00～12:00
回遊水槽でマグロを流し撮りしてみましょう。別途入館料がかかります（『フォトコンライフ』連動企画）

2月23日(日) 水族館で撮る「葛西でマグロを流す！」講評会と次回事前講習 新宿文化センター 14:00～16:00
1月26日の撮影会の講評会と、3月23日の撮影会の事前講習です

3月23日(日)「都心の春・浜離宮を撮る」 浜離宮恩賜庭園 10:00～12:00
春の花を主題に、人物や建物を入れるか外すか、こだわって撮影してみましょう

4月20日(日)「都心の春・浜離宮を撮る」講評会 新宿 14:00～16:00
3月23日「都心の春・浜離宮を撮る」の撮影会の講評会と次回撮影会の事前講習です

神奈川・東京 被写体へのアプローチ方法がわかる フォトメソッド

被写体へのアプローチ方法や被写体を見つける"目"を養うための撮影実習です

講師 岡野清人先生

日程

1月25日(土)「バスで行く 川崎工場夜景撮影会」 川崎駅集合 17:00～21:00
船での撮影とは異なり、三脚を立ててじっくり撮影します。別途バス代が必要です

撮影：岡野清人

2月23日(日)「こんな撮り方も! マクロ撮影テクニック」 新宿文化センター 10:00～12:00
簡単なライトのセッティングでマクロレンズのひと味違った楽しみ方を学びます

撮影：岡野清人

3月9日(日)「工場撮影会＆マクロ撮影」講評会 新宿文化センター 10:00～12:00
1月25日の「川崎工場夜景撮影会」と2月23日の「マクロ撮影テクニック」の作品講評をします

愛知 『フォトコンライフ』連動企画 写真から作品へレベルアップ 覚えて活用、水族館での撮影方法

ホワイトバランスとISO感度を意識して撮影してみましょう

講師 岩田賢彦先生

撮影：岩田賢彦

日程

1月12日(日)「水族館での撮影方法」講義編 名古屋企業福祉会館 13:00～15:30
これは楽しい！ 水族館での撮影方法を勉強しましょう

2月15日(土)「水族館での撮影方法」実習編 名古屋港水族館 13:00～15:00
実際に水族館での撮影にチャレンジ。別途入館料がかかります

大阪 レンズで違いをつくる 水族館と春の花の撮影術

講師 岩田賢彦先生

日程

1月19日(日)「覚えて活用！水族館での撮影方法」講議編 大阪写真会館 14:00～16:30
これは楽しい！水族館での撮影方法を勉強しましょう。『フォトコンライフ』連動企画

2月9日(日)「みんなで楽しい！水族館での撮影方法」実習編 海遊館 10:00～12:00
実際に水族館での撮影にチャレンジ。別途入館料がかかります

3月1日(土)「実習で学ぶ！春の花の撮影方法!!」 長居植物園 10:00～12:00
望遠レンズやマクロレンズを使って春の花の撮影に挑戦。別途入園料がかかります

LEVEL UP 大阪・広島・福岡 春が待ち遠しいこの季節 実践！ホワイトバランスを活かした光のとらえ方

ホワイトバランスや光を活かした撮影テクニックを撮影会とセミナーで実践的に解説します

講師 田邊和宜先生

撮影：田邊和宜

日程

	日付	会場	時間
大阪	3月22日(土)	靭公園(撮影会)	10:00～12:00
		大阪写真会館(セミナー)	14:00～16:30
	靭公園の並木やバラ園を撮影してみましょう		
広島	2月15日(土)	広島城or中央公園(撮影会)	10:00～12:00
		広島県立総合体育館(セミナー)	14:00～16:30
	広島城の迫力を写真で伝えてみましょう		
福岡	1月13日(月・祝)	大濠公園(撮影会)	10:00～12:00
		ももち文化センター(セミナー)	14:00～16:30
	大濠公園の庭園の魅力を存分に写しましょう		

上達応援キャンペーン 撮影会とセミナーの両方のご参加で1,000円引きになります

大阪 大阪エエとこ探検隊Ⅱ ちんちん電車で行こう！

身近なものを被写体にしてスナップのコツを身につけよう

講師 田邊和宜先生 岩田賢彦先生

撮影会イメージ

日程

日付	コース	時間
1月26日(日)	住吉大社～粉浜周辺	14:00～16:30
2月22日(土)	安孫子道～大和川周辺	14:00～16:30
3月15日(土)	高須神社～鉄砲町周辺	14:00～16:30

福岡 『フォトコンライフ』連動企画 見て撮って学ぶ 覚えて活用、水族館での撮影方法

ホワイトバランスとISO感度を意識して撮影してみましょう

講師 岩田賢彦先生

撮影：岩田賢彦

日程

1月26日(日)「水族館での撮影方法」講議編 ももち文化センター 14:00～16:30
これは楽しい！水族館での撮影方法を勉強しましょう

2月16日(日)「水族館での撮影方法」実習編 マリンワールド 海の中道 13:00～15:00
実際に水族館での撮影にチャレンジ。別途入場料がかかります

各イベントの参加費は、それぞれPCC会員3,000円、一般4,500円
（「相撲部屋撮影会」と「もっと写真を楽しむ写真講座」を除く）。
撮影イベントの詳細に関しましては、下記PCCホームページまたは、事務局にお問合せください
別途入園料などの費用がかかる場合があります。詳しくは受講チケットでご案内いたします。

NPO法人 フォトカルチャー倶楽部イベント参加お申込み方法

お申込みの流れ

1. 電話、FAXまたはホームページから参加登録します
   HPアドレス http://npopcc.jp
   ※ウェブ登録が必要です
2. 開催10日前までにお近くの郵便局で参加費をお振り込みください
   振り込み口座番号
   記号：00110-5　番号：263276
   なまえ：NPO法人 フォトカルチャー倶楽部
3. 正式にお申込み完了です
   ※お振り込み確認後、受付完了とします
4. 開催約1週間前に、受講チケットが届きます
   ※ウェブでお申込みの方には、メールが届きます

〈注意事項〉 ※当日、現地での参加費お支払いはお受けできません※当日、飛び入り参加はお断りします※欠席の場合は必ずご連絡ください。尚返金はできませんのであらかじめご了承ください※振り込み手数料はお申込み者負担となります
天候、その他の理由で順延・中止、あるいは内容を変更しての実施となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
〈個人情報の取扱いについて〉 NPO法人フォトカルチャー倶楽部（以下当法人といいます）は、イベント申込みの際に記入いただいた個人情報について、お客様との連絡や撮影に関わるご案内に利用させていただきます。

お申込み お問合せ先　PCC事務局 Tel 03-3356-3552 Fax 03-3356-3559
受付時間 10:00～18:00（土日祝は除く）
フォトカルチャー倶楽部 検索

2014年『セミナー・撮影会・写真教室』 参加申込書　このページをFax用紙としてお使いください

1.開催日・イベント名（　月　日　）
2.開催日・イベント名（　月　日　）
3.開催日・イベント名（　月　日　）
4.開催日・イベント名（　月　日　）

お名前
ご住所 〒　-　都道府県

該当するものを○で囲んでください
フォトカルチャー倶楽部会員様 ・ 一般の方
（会員番号　）

電話番号（　）　-
携帯電話番号（お持ちの方はご記入ください）（　）　-

おかげさまで5周年

掘り出しものどっさりの
PCC賛助企業・団体のお得ニュース

PCC賛助企業・団体の

とっておきがそろいました

旬(ネ)情(タ)報発信所

いつもありがとうございます
賛助企業・団体のみなさま

NPO法人 フォトカルチャー倶楽部は
たくさんの賛助企業・団体のご支援を受けて
写真文化の普及に寄与しています
（五十音順・2013年10月31日現在）

特別賛助企業
カメラのキタムラ＆スタジオマリオ

賛助企業
株式会社 DNPフォトルシオ
株式会社 Tポイント・ジャパン
株式会社 浅沼商会
株式会社 アビバ
株式会社 アマナホールディングス
株式会社 アルファパーチェス
株式会社 インプレスジャパン
株式会社 岡村製作所
株式会社 学研パブリッシング『CAPA』
株式会社 ケンコー・トキナー
株式会社 サティスファクトリーインターナショナル
株式会社 シー・エム・エス『PHaT PHOTO』
株式会社 シグマ
株式会社 シャレー志賀
株式会社 新東通信
株式会社 スーパーホテル
株式会社 タムロン
株式会社 ニコンイメージングジャパン
株式会社 ニッポン放送
株式会社 日本カメラ社
株式会社 日本写真企画『フォトコン』
株式会社 バッファロー
株式会社 ファミリーマート
株式会社 フューチャー・デザイン・ラボ
株式会社 フランチャイズアドバンテージ
株式会社 フレームマン
株式会社 プレジデント社
株式会社 ホリプロ
株式会社 マイナビサポート
株式会社 旅行読売出版社
オリンパスイメージング株式会社
加賀ハイテック株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
クラブツーリズム株式会社
コクヨファニチャー株式会社
小松印刷株式会社 横浜支店
スターツコーポレートサービス株式会社
スリーブログループ株式会社
セコム株式会社
綜合警備保障株式会社
ソニーマーケティング株式会社
千葉テレビ放送株式会社
トーリ・ハン株式会社
日刊スポーツ新聞社
日経ナショナル ジオグラフィック社
日本テレネット株式会社
ハクバ写真産業株式会社
パナソニック コンシューマー マーケティング株式会社VE社
富士フイルム イメージングシステムズ株式会社
ベルボン株式会社
マイクロソフト株式会社
マンフロット株式会社
リコーイメージング株式会社

賛助団体
秋山庄太郎写真芸術館
NPO法人 日本上流文化圏研究所
一般財団法人 休暇村協会
一般財団法人 ネイチャーズ ベストフォトグラフィージャパン
一般財団法人 年金受給者等健診事業支援協会

協力団体
公益財団法人 国際文化カレッジ
公益財団法人 日本野鳥の会
公益社団法人 日本広告写真家協会
公益社団法人 日本写真家協会
公益社団法人 日本写真協会
日本旅行写真家協会

カメラグッズ

1台3役の強力アイテムで デジカメをもっと便利に

TAXAN MeoBankSD Plus（タクサン ミーオ バンク エスディ プラス）

「TAXAN MeoBankSD Plus」は1台3役の便利アイテムです。Wi-Fiメディアリーダー、Wi-Fiルーター、モバイルバッテリーの3つの機能を搭載しています。「TAXAN MeoBankSD Plus」を使うと、スマホやタブレットでSDカードが使用できるようになり、デジカメで撮った写真を大画面で鑑賞したり、その場で画像データを配ったり、SNS・ブログに投稿したりできます。大容量2000mAhのスマホ充電機能は、USB充電対応のデジタルカメラにも対応しています。

TAXAN MeoBankSD Plus
本体価格 7,980円（税込）

加賀ハイテック株式会社
問 お客様相談センター
03-5540-9010
http://www.meopad.com

スマホの写真も簡単にSDカードへ書き出せます
マーケティング部 長崎誠司さん

冬の旅のお供に
撮影旅行のお供に是非『MeoBankSD Plus』をお持ちください。旅行先のホテルではWi-Fiルーターとして、撮影中にはスマホやデジカメのモバイルバッテリーとして活躍します。薄型コンパクトサイズなので持ち運びもラクチン。

キャッシュバック

いまがチャンス 人気機種も対象

5機種対象 キャッシュバックキャンペーン

18-270mm高倍率ズームレンズや手ブレ補正機構搭載の90mmマクロレンズを含むタムロンレンズ5機種のキャッシュバックキャンペーンを実施致します。対象機種とキャッシュバック額は以下の通りです。

●ソニー ミラーレス一眼カメラシリーズ「Eマウント」専用レンズ
18-200mm F/3.5-6.3 Di III VC（Model B011）
3,000円キャッシュバック

●APS－Cサイズ相当デジタル一眼レフカメラ専用レンズ
18-270mm F/3.5-6.3 Di II VC PZD（Model B008）
3,000円キャッシュバック

●デジタル一眼レフカメラ用レンズ
SP 90mm F/2.8 Di MACRO 1:1 VC USD（Model F004）
5,000円キャッシュバック
SP 24-70mm F/2.8 Di VC USD（Model A007）
7,000円キャッシュバック
SP 70-200mm F/2.8 Di VC USD（Model A009）
10,000円キャッシュバック

●対象期間：2014年1月15日（水）まで

対象機種のモデル A009とモデル F004

株式会社タムロン
問 株式会社スリィティ内「タムロン キャッシュバック キャンペーン」事務局
03-5202-2580
http://www.tamron.co.jp/

海外事業

日本の文化やマネジメントを広めます

クール・ジャパン推進運動

フランチャイズアドバンテージでは、日本流のきめこまやかなオペレーションやプロセスマネジメントをタイ市場に広める事業推進に取り組んでいます。今年度は2014年1月9日（木）～1月14日（火）に、タイで最も人気のモールのひとつ、「Siam Discovery（Siam Piwat社）」のホールで、日本文化をテーマとしたクール・ジャパンキャンペーンを実施予定です。また、1月13日（月）、14日（火）には経営者啓発セミナーと題し、日本流のマネジメント手法を紹介します。

日本のきめこまやかなサービスが「裏の競争力」です

株式会社 フランチャイズ アドバンテージ
問 03-5796-3377

カメラ

コンパクトなボディがお出かけにぴったり

FUJIFILM X-M1

7月21日に発売された「FUJIFILM X-M1」。X-Trans CMOSセンサーを搭載し、一眼レフカメラに勝るとも劣らない画質と美しいボケ味を演出します。初心者にも扱いやすいオート機能、便利なチルト液晶やWi-Fi機能に加え、8種類の効果が楽しめるアドバンスフィルターで、画像の仕上がりは思いのまま。さらにフィルムライクな色を再現する5種類のフィルムシミュレーションモードもあり、撮影に便利な機能が盛りだくさん。富士フイルムならではのこだわりで、旅のひとときを写真で彩ります。

FUJIFILM X-M1
高画質をコンパクトなボディで楽しめます

富士フイルム株式会社
問 FinePixサポートセンター
050-3786-1060
http://fujifilm.jp/personal/dijitalcamera/

X-M1は高画質＆コンパクト。いつでもでこへでも持って行き本格的な撮影もできます
名取雅文さん

撮影ツアー

冬の裏磐梯の自然美と大内宿雪まつり 城下町と宿場町の賑わいを撮る旅

大高明講師同行 自然とのふれあい写真教室特別ツアー

雪まつり開催の大内宿、自然豊かな冬の裏磐梯をゆっくりと撮影しましょう。ツアーでは1日目に大内宿・塔のへつりを撮影。2日目は中瀬沼や小野川不動滝などを、スノーシューを履いて撮影します。最終日は鶴ヶ城などで撮影する予定です。

●ツアー開催日：2014年2月9日（日）～2月11日（火）（2泊3日）
●料金：2泊6食つき 54,900円（税込）
※1室1名利用はツアー料金に2,100円増
●宿泊地：休暇村裏磐梯

スノーシューハイキングはリフトに乗る必要もなく気軽に楽しめますよ

繁田朋佳さん

一般財団法人 休暇村協会
問 休暇村東京ツアーデスク
03-3845-8652
http://www.qkamura.or.jp/

冬に撮影を楽しむとっておきのネタ
スノーシューとは「西洋式かんじき」のこと。雪の上を自由に歩け、冬の木々や野生動物と出会えることもあります。冬ならではのシャッターチャンスが訪れるかもしれません。

コンテスト

写真を撮る楽しみと飾る喜び

「写真の日」記念写真展2014 作品募集

「写真の日」記念写真展では、撮影技術の優劣や被写体の珍奇さを競うのではなく、写す人が何に感動し、何を人に伝えようとしてシャッターを切ったのかを求めています。写真を撮る楽しみ、写真を飾る喜び、そして写真を軸に家族や友達と語り合う「時」と「場」を広げていきましょう。

●応募資格：プロ・アマ・年齢・性別・国籍問わず日本在住の方
●選考委員：安珠、テラウチマサト、（公社）日本写真協会
●応募受付：2014年1月24日（金）～2月25日（火）まで

公益社団法人 日本写真協会
問 東京写真月間2014実行委員会
03-5276-3585 http://www.psj.or.jp

冬に撮影を楽しむとっておきのネタ
冬の撮影には、靴用簡易滑り止め（スーパースノーアイスバット）が重宝しますよ。7本のスパイクピンが氷をスパイクするので、凍ってる路面を歩くときに安心して歩行できます。

コンテスト

歴史あるコンテストに参加しませんか？

「第39回 2014JPS展」作品募集

JPS展は写真文化の発展に寄与し、写真愛好家にも人気の高い歴史ある公募展です。歴代の入賞、入選者からは多くのプロの写真家を輩出しています。テーマは自由で一般部門の他に20歳以下部門もあります。振込用紙付き応募要項をご希望の方は、FAX、メール、はがきでお申込みください。ホームページからもダウンロードすることができます。皆さんからのご応募お待ちしています。

●受付期間：12月15日（日）～2014年1月15日（水）

たくさんのご応募をお待ちしています

JPS展委員 森下泰樹さん

公益社団法人 日本写真家協会
問 第39回 2014JPS展
03-3265-7453
http://www.jps.gr.jp

冬に撮影を楽しむとっておきのネタ
寒い野外での撮影で、バッテリーの能力が低下してしまい、だめになったことはありませんか。こうした場合、防寒着の中に入れると復活するので、あきらめずに。また予備のバッテリーを用意しておくといいですよ。

各地発 今日も楽しく写真の稽古

あなたの地域にもあります。おすすめの写真展・写真教室。
味につられてイベントに越境参加しませんか

東北

風景と海中の写真展

「中村卓哉写真展」

【期間】2014年2月23日(日)まで
【会場】中村征夫フォトギャラリー「ブルーホール」
(秋田県潟上市飯田川飯塚字飯塚34-1 小玉醸造株式会社内)
☎ 018-877-5772

香りとやわらかさが特徴

鍋やうどんに冬には大活躍のネギ。秋田の「横沢曲がりねぎ」は香りとやわらかさが特徴のネギです。

甲信越・北陸

「ワンダーフォト写真展2013」

【期間】2014年1月4日(土)～2月16日(日)
【会場】ミュゼふくおかカメラ館(富山県高岡市福岡町福岡新559)
☎ 0766-64-0550

マスの切り身と酢飯

マス寿司は、円形の器に笹を敷き、その上に味付けしたマスの切り身と酢飯を詰め、笹で包みこんで重しをしてつくられる押し寿司。今でも富山市にはたくさんの専門店が並びます。

中部・東海

初心者向け写真教室

「『ふぉと＊いろ』やさしい写真教室」

【期間】ブログにてお知らせ
ふぉと＊いろブログ http://photoiro.eshizuoka.jp/
【料金】1,200円～1,500円 ※会場によって異なります
【場所】静岡県(焼津市拠点)
【申込み先】photoiro@gmail.com(石川)までメールでお申込みください

黒はんぺん

静岡県中部では、新鮮なイワシやサバを主原料とした黒はんぺんが一般的。およそ300年前から作られている伝統ある郷土食です。

関西

各国の大使や外交官が日本のいろいろな様子をおさめた写真展

「『にっぽん―大使たちの視線』写真展2013」

【期間】12月5日(木)～2014年1月20日(月)
【会場】ひょうご国際プラザ交流ギャラリー
(兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1国際健康開発センター2F)
【お問合せ】☎ 03-3543-0156

関西風お好み焼き

関西風お好み焼きは、生地に山芋などを混ぜ込んでいるのが特徴。神戸市には「ぼっかけ」といわれる牛すじ煮込みを入れたお好み焼きがあります。

撮影：キアラン・チェストナット

北海道

野外写真展・東川町国際写真フェスティバルのグランプリ受賞者の作品展

「ストリートギャラリー2013 グランプリ 片山菜緒子写真展」

【期間】2014年1月7日(火)～29日(水) 10:00～17:30(最終日は15:00まで)
「ひがしかわ大写真展」も同時開催中
【会場】東川町文化ギャラリー(北海道上川郡東川町東町1-19-8)
☎ 0166-82-4700

相性抜群の丼

新鮮なウニとイクラをつかったウニ・イクラ丼は北海道名物。とろみのあるウニとプリプリとした食感が楽しめるイクラとの相性は抜群です。

関東

バルブ写真に575の川柳をつけて

『第3回バルブフォト五七五コンテスト』作品募集

【募集期間】2014年1月31日(金)まで
【募集内容】水道の蛇口から宇宙ロケットのエンジンまで使用されている"バルブ"。縁の下の力持ちであるバルブが写っている写真に川柳をつけた作品を募集
【応募方法】東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 510
(一社)日本バルブ工業会「バルブフォト五七五」コンテスト係
【主催】(一社)日本バルブ工業会

江戸前寿司の定番

姿はウナギに似ているが、淡白ながらうまみに満ちているアナゴ。東京湾のアナゴは全国でも一級品とも賞されています。「江戸前寿司」の定番ネタともいえます。

中国・四国

子どもたちの「みてみて!」の向こう側

小西貴士写真展「みてみて! ～森で出会った子どもたち～」

【期間】12月14日(土)～2014年 1月5日(日)
【場所】モンベル大山店 ☎ 0859-52-2511
(鳥取県西伯郡大山町大山115)

山菜、栗、人参…

大山おこわは、100%もち米を使用。大山で摘む山菜をメインに栗、人参、ゴボウなど野菜を具沢山に使用した五目おこわが有名で、駅弁としてだされるほどの名物料理です。

九州・沖縄

一度は見ておきたい

「森山大道 終わらない旅 北／南」

1974 沖縄 ©DAIDO MORIYAMA

【期間】2014年1月23日(木)～3月23日(日)
【会場】沖縄県立博物館・美術館
企画展示室1・2(沖縄県那覇市おもろまち3-1-1)
☎098-941-8200

ごちゃ混ぜ=チャンプルー

「チャンプルー」とは「ごちゃ混ぜ」という沖縄の方言。ゴーヤチャンプルーはビタミンC豊富な炒め物料理です。

知っ得! 各社のお客様相談窓口

キリトリ

Canon キヤノン お客様相談センター
コンパクトデジカメ
☎050-555-90005
デジタル一眼・交換レンズ
☎050-555-90002

Nikon ニコン カスタマーサポートセンター
☎0570-02-8000

FUJIFILM フジフイルム FinePixサポートセンター
☎050-3786-1060

リコーイメージング お客様相談センター
☎0570-001313

OLYMPUS オリンパス カスタマーサポートセンター
☎0120-084215

RICOH リコー お客様相談センター
☎0120-000-475

SONY ソニー お客様ご相談センター
製品問合わせ
☎0120-000-488
使い方問合わせ
☎0120-333-020

Panasonic パナソニック LUMIX ご相談窓口
☎0120-878-638

キタムラグループ お客さまなんでも相談室
☎050-3033-0066(PCC会員専用)

※受付日時はそれぞれ異なります。
詳しくは各社ホームページをご確認ください。

カメラ

さまざまな被写体に対応! 撮り倒すならこのカメラに決まり!

新製品 PENTAX K-3

「PENTAX」独自のSR機構を応用し、ローパスフィルターと同等の効果を得る新技術を開発しました。モアレが出やすいポートレートや、緻密さを追求したい風景も、これ1台で対応可能です。また、約2400万画素の高精細画像、最高8.3コマ/秒の高速連写、RGB測光センサーなど、多彩な機能で、撮り手に快適な撮影を提供します。

PENTAX K-3
ボディ本体価格
149,800円(税込)

リコーイメージング株式会社
問 お客様相談センター
0570-001-313
http://www.ricoh-imaging.co.jp/

冬に撮影を楽しむとっておきのネタ

「PENTAX K-3」のAF輝度範囲は-3EV～+18EVです。また-10℃の温度環境下で撮影が可能になり、寒い冬の夜明けでも精度の高いAF性能が得られます。

カメラグッズ

ワンタッチでカメラ位置調整

ピクシー ミニ三脚 ブラック MTPIXI-B

MTPIXIは、マンフロットらしいスタイリッシュなイタリアンデザインの三脚です。ボタンひとつでボール雲台の開放、ロックを行うことができ、直感的にすばやくカメラ位置の調整ができます。耐荷重1kgでコンパクトカメラ、ミラーレス、一眼レフに対応。小型でありながら、保持力が強くブレにくいミニ三脚です。高級コンデジやミラーレスにピッタリなサイズです。

MTPIXI-B
3,570円(税込)

可動部はワンタッチでロックと解除が可能

ミニ三脚の脚をまとめて握ると動画撮影にも便利なんです!

マンフロット株式会社
問 カスタマーサービス
03-5404-6877
http://www.manfrotto.jp/

岩崎尚広さん

PCC賛助企業・団体の 旬情報発信所

暮らし

老後の暮らしに安全と安心を

ライフサポートレジデンス ゆらら篠崎

スターツケアサービスでは東京都を中心に高齢者向け賃貸住宅「ゆらら」を展開しています。その中でもゆらら篠崎は都心から電車で約30分、駅から7分の立地で、自由で安心な生活ができる高齢者住宅です。365日の有人の安否確認、夜間緊急通報システム、介護が必要になっても併設の介護サービスが利用できます。自宅での生活に不安を感じている方、遠方からご両親を呼び寄せたい方には最適な賃貸住宅です。

万一のときのサービスも充実しています

スターツケアサービス株式会社
問 ライフサポートレジデンス ゆらら篠崎
03-3677-5674
http://www.starts.co.jp/s-careservice/yurara/shinozaki/

リニューアル

美しい風景や料理写真をより魅力的に紹介

月刊「旅行読売」 1月号よりオールカラー化

創刊48年目の月刊『旅行読売』は、「写真はカラーで見たい!」というご要望にお応えして、オールカラーに。さらに、表紙やロゴ、中面の記事デザインも大幅リニューアル。1月号は「著名人が選ぶ 誰にも教えたくない温泉宿」、「東京の七福神」、「高速バスはどう変わった」の3つの特集で、バラエティー豊かに旅の情報をお届けします。巻末には本誌で紹介した観光地や、店舗を記載した全国地図も掲載。旅に便利な一冊を目指します。

1月号よりガラッと変わる月刊「旅行読売」にぜひご期待ください!

(株)旅行読売出版社
問 営業企画部 販売課
03-6853-4311
http://www.ryokoyomiuri.co.jp/

須賀 薫さん

冬に撮影を楽しむとっておきのネタ

月刊「旅行読売」では、全国各地にお住まいの写真愛好家を募集しています。応募方法など詳細は、本誌P30をご覧ください。

震災支援

みんなのおもいをかたちに

「Tカード提示で被災地の子どもたちに笑顔を。」プロジェクト

Tポイントは東日本大震災被災地支援を続けています。子どもたちが笑顔で遊べる場をつくりたいと、これまで宮城県と岩手県に遊び場を3館、建設しました。現在は、福島県相馬市に子どもたちが安心して元気に遊ぶことのできる屋内型の遊び場づくりを進めています。Tポイント募金など、様々な支援方法で、皆さまよりこの遊び場の建設費用を募っています。皆さまのあたたかいご支援をお願いいたします。

これまで児童館などを建設してきました

株式会社Tポイント・ジャパン
問 Tカードサポートセンター
0570-029294
http://tsite.jp/tj3a

3/15〜7/15

7/15〜11/15

11/15〜3/15

365日フォトコンテスト 2013 春夏

特別なスポットで粘って絶好のチャンスをとらえる

365日、日々のワンシーンを切り取って応募するフォトコンテスト。
31,478点もの応募のなかから選ばれた上位作品は、
オリジナリティを活かし、今後がますます楽しみになるものばかりでした。

腕自慢コース

パワーを感じ、色の表現に気を配る

人部門

グランプリ

「虹と遊ぶ」

水上裕康さん（東京都）
撮影地：千葉県袖ヶ浦
キヤノンEOS 5D Mark III、SP AF28-75㎜ F2.8、F7.1、1/640秒

いまこの瞬間がチャンスであって この１秒前でも後でもない

審査員：織作峰子氏
写真家。1981年度ミスユニバース日本代表。1985、1986年全国二科展入選。国内外で写真展を多数開催するかたわら、テレビや講演に幅広く活躍中。大阪芸術大学教授

静かな作品ながらパワーを感じさせるもの、動きのある中で、この１秒前でも後でもないという瞬間をとらえた作品など見応えがありました。人が見ていないところを見つけたり、人が動かない時間に行動したりなど、オリジナリティを活かした作品が上位にあがっています。

風景部門

グランプリ

「満開のお花畑」

柴田寛之さん（大阪府）
撮影地：滋賀県大津市
F9、バルブ、三脚使用

こういう瞬間はあまり見たことがない、という作品

審査員：竹内敏信氏
風景写真の第一人者として最も人気が高く、アマチュアの指導にも力を入れている。日本写真芸術専門学校校長、NPO法人 フォトカルチャー倶楽部顧問

全体的なレベルは確実に上がっており、「こういう瞬間はあまり見たことがない」というような新鮮な作品が印象に残りました。また、まだどこにも紹介されていない作者の思い入れのある特別なスポットで苦労して粘って絶好のチャンスをとらえた作品が多くあり、今後がますます楽しみになりました。

自由部門

グランプリ

「胞子が降る」

石井稔さん（群馬県）
撮影地：群馬県桐生市
ニコンD7000、18-250㎜、F6.3、3秒、三脚使用

色表現に気を配り、黒の締まりの違いを理解する

審査員：丹地敏明氏
写真家。風景写真を中心に、民家、伝統工芸など撮影対象は多岐にわたる。フォトパラダイスアカデミー主宰、NPO法人 フォトカルチャー倶楽部顧問

前回とはまた傾向の違う作品が集まり、感動がありました。審査をしていて感じたことは、やはりプリントにまで気を配った作品は上位にあがってきているということ。色の表現力にしても、特に黒の締まりが違うということを理解して応募している作品は強いです。

＜撮影データ表記＞カメラ、レンズ、絞り、シャッタースピード、その他

全体的に高いレベルの作品たちで、新鮮な印象が残る

風景部門

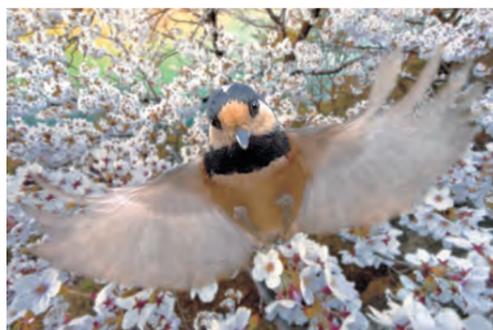
準特選

「親子の愛」
小林敏行さん
（新潟県）

UFO
小林壯太郎さん
（石川県）

「イナズマ」
吉﨑登志男さん
（大阪府）

「二蓋笠」
安達智さん(山形県)　撮影地：山梨県甲斐市
キヤノンEOS 5D Mark III、70-200㎜ F2.8、F5.6、1/400秒、PL、三脚使用

特選

「春栄の訪問者」
横田康治さん(高知県)　撮影地：高知県仁淀川町
キヤノンEOS 1Ds Mark III、EF8-15㎜ F4L、F4、1/640秒、三脚使用

人が動かない時間に撮影するなど、オリジナリティを活かす

人部門

準特選

「ハプニング」
髙橋昌平さん
（群馬県）

「胴上げ」
乗松賢二さん
（愛媛県）

「絶叫」
山下善久さん
（福岡県）

「狭間」
柴山正治さん（東京都）　撮影地：東京都小金井市
キヤノンEOS 7D、24-70㎜ F2.8、F4、1/400秒

特選

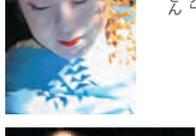
「春の嵐に立ち向かう」
斉藤弘昌さん(東京都)
撮影地：東京都
キヤノンEOS 5D Mark III、EF70-200㎜ F2.8 IS II USN、F3.2、1/320秒、三脚使用

プリントまで気を配り、応募する

自由部門

準特選

「お留守番」
大西展子さん
（福岡県）

「まどろむ人」
石倉美義さん
（群馬県）

「夜のビートルズ」
西村光洋さん
（香川県）

「『スィーッ』と天まで昇れ！」
林昌尚さん(福井県)　撮影地：福井県越前市
キヤノンEOS 6D、100㎜マクロ、F5.6、13秒、三脚使用

特選

「間伐材再生」
上島信一さん(長野県)　撮影地：長野県大町市
キヤノンEOS 1D Mark IV、F17-35㎜、F22、PL、三脚使用

 全国各地で写真展に行ったり、写真教室に通ったりしませんか。詳しくは→P37

表情やその周りの風景を一緒に取り込む

旅部門

グランプリ
「また会おう」 町田平さん（埼玉県） 撮影地：沖縄県
オリンパスE-M5、サムヤン Fish-eye 7㎜、F5.6、1/1000秒

旅先での出会いを大切にする

審査員：杉本恭子氏
竹内敏信氏に師事し、2003年にフリーに。公益社団法人日本写真家協会会員、日本写真協会会員、日本写真療法家協会理事、キヤノンEOS学園講師

旅を楽しんでいる光景や家族の絆を感じられる作品が印象的でした。風景だけを扱っている作品が多かったのですが、旅先での出会いを大切にして、旅の情景として人間の表情やその周りの風景を一緒に取り込むように考えると、より上位に入る機会が増えるだろうと思います。

特選

「童心」
梅田創介さん（福岡県）、撮影地：宮崎県、カシオ EXILIM EX-2R300

「好奇心」
草野幸男さん（千葉県）
撮影地：千葉県、ニコン D60、AF-S17-35㎜ F2.8、F8

準特選

「アメリカサイズ」
増井典子さん
（北海道）

「星降る夜」
星野雄飛さん
（神奈川県）

「ぼくもまぜて！」
横井大輔さん
（兵庫県）

自然部門

グランプリ
「サギの文次郎」 熊澤鉄雄さん（愛知県） 撮影地：愛知県
ニコンD4、500㎜、F4、1/1000秒、UV、三脚使用

生き物を身近な仲間ととらえているよう

審査員：海野和男氏
自然写真家。長野県小諸市にアトリエを構える。テレビでも活躍。日本自然科学写真協会会長、日本昆虫協会理事、公益社団法人日本写真家協会会員

自然の様々な表情の作品にワクワクしながら審査をしました。今回は特に鳥を写した作品によいものが多かったです。デジタルカメラの高速シャッターを使うなど皆さんの工夫と努力が実ったのだと思います。若い撮影者の作品では生き物を身近な仲間ととらえているような作品があったのも嬉しく思いました。

特選

「み〜つけたっ！」
小久保実夫さん（埼玉県）
撮影地：群馬県、キヤノン EOS-1DX、EF400㎜F2.8 L IS、F2.8、1／1000秒

「夕日に照らされて」
金子和美さん（東京都）
撮影地：アメリカ ハワイ州、キヤノン EOS Kiss Digital X、EFS18-55㎜、F8、1／80秒

準特選

「鏡の国の小さなさかな」
栗原一行さん
（千葉県）

「今なら誰も見てないから…」
福井将人さん
（兵庫県）

「秋色に染まる」
高鷹春一さん
（福岡県）

ペット＆動物部門

グランプリ
「遊ぼうよ」 中村賢一さん（福岡県） 撮影地：福岡県
ニコン D800E、AF-S NIKKOR 50㎜ f/1.4G、F2.8、1/60秒

動物の生態、性格が伝わるような作品

審査員：増田勝正氏
1945年東京都出身。イヌやネコ、ペット専門の動物カメラマンとして30年以上従事。イヌ、ネコのスタンダード、歴史、使役犬、生態、行動等に造詣が深い

飼育しているからこそ撮れるその動物の生態、性格が伝わるような作品が増え、全体のレベルは上がっています。大変喜ばしいことです。ただ、写真コンテストの場合、小さいサイズでの応募は印象を弱めてしまうので店員さんとよく相談しサイズやプリントのクオリティの問題を検討していただきたいと思います。

特選

「もの思う」
金坂俊二さん（島根県）
撮影地：島根県
ニコン D90、AF-S DX NIKKOR 35㎜f/1.8G、F2.8、1/2000秒

「Flyer !!」
坂田淳志さん （兵庫県）
撮影地：兵庫県
ニコン D300、TOKINA AF-X 12HPRO DX 12-24㎜ FA-MACRO、F5.6、1/1000秒

準特選

「これではお嫁に行けません」
河野栄美さん
（兵庫県）

「欲ばり赤ちゃん」
池原康夫さん
（大阪府）

「わんこ大好き」
林純一さん
（愛知県）

被写体に出会ったときの感動が感じられる

腕だめしコース

自由部門

グランプリ
「夏の香り」
鈴木倫子さん（茨城県）
撮影地：茨城県
キヤノンEOS kiss X2、EF-S18-55㎜、F3.5、1/25秒

被写体に出会ったときの感動が感じられる

審査員：川合麻紀氏
彩り写真家。雑貨、子どもなどオールマイティ。テレビ出演、写真教室などで分かりやすい写真指導でも人気。公益社団法人日本写真家協会会員

腕だめしコースなので、テクニックよりも初めてその被写体に出会ったときの感動が感じられる作品を選びました。ベテランと初心者、年代による作品作りの違いが見ていておもしろかったです。全体のレベルが上がっているので上位に入るには五感をくすぐるなどプラスαがないと難しいでしょう。

特選

「さあ、虫とりだ!!」
朝日恵美子さん（静岡県）
撮影地：静岡県

「暑中見舞」
水上雄太さん（愛知県）
撮影地：愛知県、ニコンD4、AF-S NIKKOR 50㎜ f1.8、F1.8、1／160秒

準特選

「幻影」
中本聖さん
（沖縄県）

「宇宙人アラワル」
西山祥子さん
（埼玉県）

「ロックンロール」
福森翔一さん
（東京都）

こども＆赤ちゃん部門

グランプリ
「至福の時」 細川和彦さん（北海道）、撮影地：北海道
オリンパス TG-610、F5.4、1/30秒

躍動感ある作品やほほえましい作品たち

審査員：沼田早苗氏
1978年にフリーランスとなる。「財界」「ヨミウリウィークリー」の表紙撮影、商業写真、取材撮影などを手がける

今回は速いシャッタースピードでとらえた躍動感のある作品や、シャボン玉を使った夢のある作品、入学式での緊張感のある初々しい表情をとらえた作品など、ほほえましい作品が集まりました。回を重ねるごとにすばらしい作品が多くなっています。撮影する機会を増やしてシャッターを多く切り、その中から選ぶ作業をすると、一段とよい作品ができると思います。

特選

「お勉強大丈夫かな？」
室峰正雄さん（愛知県）
撮影地：愛知県、ソニーα350、18-50㎜、F3.5、1／30秒

「ぶらさがり〜」
多田和夫さん（山口県）
撮影地：山口県、ニコンD700、シグマ50-500㎜APO DG、F10、1／400秒、三脚使用

準特選

「楽しい潮干狩り」
仲程梨枝子さん
（沖縄県）

「Take Off」
宮永吉隆さん
（兵庫県）

「我が家のせんと君」
原亜矢さん
（三重県）

スマホコース

10代の作者の作品が増え、大混戦のコンテスト

特選

「初デート」
畑本聖子さん（岡山県）

「変身 !!」
山下佑香さん（兵庫県）

グランプリ
「いたたたたっ」
島田法子さん（神奈川県）

「いたたたたっ」というタイトルの作品ですが、痛がっているのは被写体のママで、そして撮影者であるというスマホならではの作品です。つねっている顔はそんなにいたくないけれど、自分たちを撮っているというその視線の優しさが、家族写真としてこれ以上ないくらい暖かい作品になっています。

身近なスマホで気づいたら撮る

審査員：奈良 巧氏
早稲田大学政治経済学部卒業後、小学館勤務。現在は雑誌記者、カメラマン、編集者。季刊「フォトコンライフ」に「奈良巧カメラ」連載中。

10代の作者の作品が増え、ヤング層対シニア層という図式の中間にママ層がいて、こんなに年齢差があるコンテストはないんじゃないかというくらい大混戦のコンテストでした。一眼レフを持っている人も増えていますが、常に身近にスマホを持ち、気づいたら撮るという写真の原点を思い起こさせてくれます。

準特選

「ナンの叫び」
山下由樹子さん
（山口県）

「フロ友」
松岡里佳さん
（沖縄県）

「空宙散歩」
後藤絵理さん
（茨城県）

入選

「ゴムゴムのガトリング!!」
岡本美花さん
（愛媛県）

「つけまゆげ」
黒澤敬子さん（兵庫県）

「ライオン…!?」
高崎菜々子さん（大阪府）

「力つきました…」
長谷川絵美さん（滋賀県）

「米太郎」
細江正太郎さん（石川県）

「一日の終わり」
林真紀さん（神奈川県）

「電波バリバリ!」
秋本亜紀さん（広島県）

「天体望遠鏡越しのスーパームーン」
西里望さん（沖縄県）

「あっかんべぇー」
郡千賀子さん
（宮崎県）

「走れ、大根」
福永梨萌さん（熊本県）

「かくれんぼ」
梅原麻美さん
（高知県）

「もののけの森で」
山口雅司さん
（大阪府）

「カーズと一緒に夢の中…」山田愛さん
（岐阜県）

「花道」
矢野亜紗美さん（徳島県）

「Ｐｅａｃｅ」
小島明菜さん
（群馬県）

「っはい?!」
中山真弓さん（栃木県）

「クリームパン」
眞壁真代さん
（茨城県）

「海に行きたい」
丸谷瑠美子さん（岩手県）

「足なが星人登場!」
大森香葉子さん（岩手県）

「赤そばの花ドレス」
冨田浩子さん（青森県）

「熟睡」
米長時正さん
（北海道）

「白い影」
岩井人志さん（北海道）

「逆さ富士」
鈴木治美さん（長野県）

「初夏に恋して」
林田芳代子さん（神奈川県）

「夕焼けのホーム」
阿出川健太さん
（東京都）

「ここはどこ？」
萩原沙貴子さん
（東京都）

「犬？鹿！」
谷内豊さん
（東京都）

「キラキラな冬」
木本くるみさん
（千葉県）

「ゴジラ!?出現!!!」
北田光さん（埼玉県）

「産まれてきてくれて有難う」
永島麻奈美さん
（埼玉県）

撮った写真で年賀状をつくりませんか。「写真年賀状コンテスト2014」では、つくった年賀状、もらった年賀状を大募集。詳しくは→P28

自慢の１枚、笑顔になる１枚、撮ったら応募してみませんか。

皆様の作品発表を応援しています。

365日 フォトコンテスト 2013 秋 冬

春夏 3/15〜7/15　祭り 7/15〜11/15　秋冬 11/15〜3/15

募集期間 2014年3月15日㈯まで

中・上級者向け 腕自慢コース

風景部門
［テーマ］
自然風景、町並みなど

人部門
［テーマ］
家族、スポーツなど

自由部門
［テーマ］
日常スナップ、鉄道など

ビギナー向け 腕だめしコース

こども&赤ちゃん部門
［テーマ］
我が子の笑顔など

ペット&動物部門
［テーマ］
イヌ・ネコ・動物園など

自然部門
［テーマ］
植物、野鳥など

旅部門
［テーマ］
記念写真など

自由部門
［テーマ］
日常スナップ、飛行機など

スマホコース

テーマ：自由
※スマホ・ケータイ限定
※テーマは問いません
※アプリで加工したものでもOK

桜、新緑、紅葉、雪などの日本の四季を撮りためてませんか？

腕自慢コース・風景部門で紅葉・雪の作品募集中！

桜、新緑、紅葉、雪など、日本の四季は美しい景色を1年中楽しめます。また、そんな日本の四季を撮りためている方も多いはず。腕自慢コースの風景部門では、そんな美しい四季の風景をお待ちしております。撮影したとっておきの1枚を自分だけではなく、コンテストに応募して、多くの人の目を楽しませてみませんか。365日フォトコンテスト2013秋冬では、紅葉のある風景、雪のある風景をテーマに作品を募集します。

賞金・賞品総額 500万円以上

365日フォトコンテストは
シャッターチャンスも応募のチャンスも365日！
365日通して、応募総数約10万点となる全国最大規模の写真コンテストです。全国のカメラのキタムラ店頭で応募受付しているほか、郵送でも応募できます。「スマホコース」では、アプリで加工したものもOK。カメラではなかなか写真を撮らない方でも気軽に応募いただけるコースです。上位入賞作品は、すべての部門の作品を本誌上でも掲載します。

365日フォトコンテスト2013［秋冬］ 2014年3月15日（土）まで

［応募方法］カメラのキタムラ店頭で受付（郵送でもご応募いただけます）

［プリントサイズ］

［腕自慢コース］
6切・W6切・A4・4切・W4切
● 風景部門
● 人部門
● 自由部門

［腕だめしコース］
はがきサイズ・2L・6切・W6切・A4
● こども&赤ちゃん部門
● ペット＆動物部門　● 自然部門
● 旅部門　● 自由部門

［スマホコース］
はがきサイズ・2L・6切・W6切・A4
● テーマ：自由
スマホ、ケータイで撮った写真限定

お問合せ先 カメラのキタムラ お客さまなんでも相談室 050-3116-8888

主催：NPO法人 フォトカルチャー倶楽部
特別協賛：カメラのキタムラ、富士フイルム イメージングシステムズ株式会社
後援：一般社団法人日本フォトコンテスト協会

フォトギャラリーキタムラ東京で楽しいひとときを

四季折々、美しい景色は私たちを癒してくれる

寒い季節は写真展でいろいろな作品を見て楽しみませんか。フォトギャラリーキタムラ東京・新宿では、今後開催される予定の注目の3展をピックアップ。

今後の予定

フォト3Sクラブ写真展

2014年1月23日(木)~1月29日(水)

私たちフォト3Sクラブは門井ゆりか先生を講師に迎え、第2回目の写真展を開催します。先生のフレッシュな感性に刺激され、会員の写真にも若さを感じてもらえるはずです。出展作品を楽しくご覧いただけたらと思います。

渋がき塾「私のお気に入り」

2014年2月20日(木)~2月26日(水)

渋がき塾は、ニコンにいらした柿本完二先生を塾長とした、写真の上達を目指す約20名の会です。今回は、グループで初めての写真展になります。テーマを限定せず、それぞれの「お気に入り」を展示しているので、それぞれの作品を楽しんでいってください。

榎本達雄写真展「四季の主役たちⅡ」

2014年3月6日(木)~3月12日(水)

咲き競う美しい花々。芽生えた新緑の、次第に色づきやがて散り行く木々の姿。彼らは四季折々、私たちを癒し、楽しませてくれます。その素敵なたたずまい、移り行く一瞬を記録したいと写真を撮っています。前回の写真展「四季の主役たち」から6年、新たに撮りおろしています。

フォトギャラリーキタムラ 東京・新宿の 今後の予定

2013年

○12月5日（木）～12月11日（水）	第13回キヤノンフォトクラブ東京第6　写真展
○12月12日（木）～12月18日（水）	第12回 くらんぼーんCLUB写真展
○12月19日（木）～12月27日（金）	スロー写真大賞写真展

2014年

○1月6日（月）～1月22日（水）	「日本の祭りコンテスト」入賞作品展
○1月23日（木）～1月29日（水）	フォト3Sクラブ写真展
○1月30 日（木）～2月5日（水）	アンダルシアの風
○2月6日（木）～2月12日（水）	第10回　カメラのキタムラ公募展
○2月13日（木）～2月19日（水）	三菱商事写真同好会2013年写真展
○2月20日（木）～2月26日（水）	渋がき塾「私のお気に入り」
○2月27日（木）～3月5日（水）	ルミエール写真展
○3月6日（木）～3月12日（水）	槙本達雄写真展「四季の主役たちII」

フォトギャラリーキタムラ 東京・新宿

東京都新宿区新宿1-2-6 御苑花忠ビル1F
☎03-3341-7577 http://kitamura.jp/photogallery/
10:00-18:00（土曜日11:00-17:00）
※写真展最終日は15:00まで　定休日／日・祝祭日

フォトブックサービス中

フォトギャラリーキタムラ 東京・新宿では、ギャラリーをご利用のグループに、展示した写真や記念写真をまとめたフォトブックを1冊プレゼントしています。

フォトギャラリーキタムラ 大阪・豊中

大阪府豊中市西緑丘3-10-7
カメラのキタムラ豊中・豊中店2F
☎06-6855-6645
10:00-20:00
※写真展最終日は15:00まで
定休日／年中無休（年末年始は除く）

Thanks for Coming 思いを巡らし、写真を撮る

積み重ねた10年の成果

第10回フォトクラブ210写真展
2013年9月5日（木）～9月11日（水）
今年は第10回目の区切りの年でした。今年のテーマは「私のベストショット」として、各自がお気に入りの写真の中から選んで出展しました。10年という積み重ねの成果をご覧いただけたかと思います。

撮り歩くことが健康維持の秘訣

東武カルチュアスクール第16回TCS写真展
2013年8月29日（木）～9月4日（水）
「東武カルチュアスクール」の教室メンバーが年間成果を発表しました。今回は16回目。作者がそれぞれ高齢化になる中で、創作による活性化、撮り歩くことで健康維持などに結びついています。

不思議と脅威に満ちた世界

大高明写真展「サウスウエストの或る風景」
2013年8月22日（木）～8月28日（水）
地球原風景の宝庫といわれる、アメリカサウスウエスト。撮影を始めて20数年。撮りつくすことのできないワンダーランド・アメリカサウスウエストの不思議と脅威に満ちた世界を写真展でお楽しみいただきました。

それぞれの思いや感動を表現

第13回フォトグループ（FINE）写真展
2013年10月10日（木）～10月16日（水）
富士フォトギャラリー日比谷で産声を上げた私たちのグループの写真展も、今年で13回目を迎えました。その間で体調を崩したりして撮影から離れるものもいましたが、各々の思いや感動を自由に表現した楽しい作品を展示できました。

「継続は力なり」の精神で作品をつくる

第11回フォトクラブ景作品展「風林火山」
2013年10月3日（木）～10月9日（水）
写真家・秦 達夫先生の指導のもと、日本の四季の風景（風・林・火・山）を切り撮り、今年で11回目の作品展示をしました。研究を重ね「継続は力なり」の精神で、それぞれが課題を持って作品づくりに取り組みました。

18年目の写真展

キヤノンフォトクラブ東京第3　第18回写真展「それぞれの出会い」
2013年9月26日（木）～10月2日（水）
キヤノンフォトクラブ東京第3は、EOS学園桜井教室の生徒が中心となり発足しました。第18回写真展は、門井ゆりか先生のご指導をいただいてから2回目の写真展。18年目の私たちの作品を楽しんでいただきました。

あなたも写真展を開きませんか？

フォトギャラリーキタムラ（東京・新宿）では、手間のかかりがちな展示や片付け、発送の手配などはすべてギャラリーのスタッフがこなしてくれます。写真の設置やライティングも、展示専門のフレームマンがプロデュース。フォトギャラリーキタムラなら簡単な準備で写真展が開けます。下の開催までのステップを見ながら、あなたも写真展を開いてみませんか？

はじめての写真展こんな具合に

スタート
- ☐ ギャラリーで申し込み
- ☐ 展示する写真選び
- ☐ ダイレクト・メール作成

開催1ヶ月前
- ☐ 写真のデータ渡し
- ☐ ダイレクトメール発送

開催2週間前
- ☐ ギャラリーでプリントの仕上り、色味チェック

開催前日
- ☐ 展示準備

オープン！

私にとっての第二の故郷

中川節子写真展「パリに魅せられて」
2013年9月19日（木）～9月25日（水）
10年間生活していたパリは、私にとって第二の故郷ともいえます。今回は、ごく一部ですが私にとってのパリを写真展でご覧いただきました。「ここ知っている」、「ここにも行った」、と思いを巡らせてもらえたのではないでしょうか。

「自然の風景」を主題に光を感じる

小森眞写真展「自然の光景と」
2013年9月12日（木）～9月18日（水）
「自然の風景」を主題に写真をはじめました。キヤノンで桜井始先生に師事し、光の大切さをはじめ、基本的なことを教えてもらいました。作品を見て、光を感じていただけるような作品を展示しました。

今回の課題作品は「道」

第21回女性のための写真教室作品展
2013年10月24日（木）～10月30日（水）
自由作品、課題作品の二本立てで写真展をしました。今回は課題作品のテーマは「道」。身近な存在の「道」ですが、コンセプトをいかにまとめて作品をつくるかが重要になりました。

今年で64周年をむかえた写真部

第13回東京電業協会写真部写真展
2013年10月17日（木）～10月23日（水）
東京電業協会写真部は今年で64周年。今回は13回目の写真展でした。モノクロからカラーへ、フィルムからデジタルプリントの時代への変革を受け継ぎ、自然、人物などあらゆるテーマで写真を楽しんでいます。

記憶に残す、心に残る 写真がもっと楽しくなるクラブがここにあります

フォトカルチャー倶楽部(PCC)では「みんなで新しい写真体験を!」をキャッチフレーズに掲げ、会員の皆さまのご支援で、さまざまな社会貢献・文化貢献・環境保護貢献をしています。会員の種類は、会員特典のすべてを受けられる「プレミアム会員」と、入会しやすくお得な通常の「会員」があり、ご自身のスタイルに合わせてお選びいただけます。写真が好きなら入会資格あり。写真がもっと楽しくなるための方法がここにあります。あなたもぜひPCCに入ってみませんか。

環境貢献 10%
文化貢献 15%
社会貢献 15%
みんなで新しい写真体験を! 60%
学べる
出会える
見せる
入会すると参加できます
NPO法人 フォトカルチャー倶楽部

会員の皆さまからいただいた会費は
PCCの活動を通して、
上記のような目的で大切に使われています

社会が、笑顔が つながる、ひろがる

①「G(グランプリ)サミット」開催でフォトコンテストを活性化
全国のフォトコンテストのグランプリ作品を一堂に展示。また昨年は、展示作品を収録した『フォトコンテスト 必勝の極意』を発刊。作品を見てもらえる場を提供しました

②「写真年賀状コンテスト」で日本の伝統文化を継承
なくなりつつある年始のご挨拶「年賀状」。日本のよき習慣を楽しんでつづけてほしいという思いで写真年賀状コンテストをはじめました。応募作品1枚につき10円を東日本大震災被災地に義援金として寄付しています

③「フォトブック甲子園」開催で思い出を形に
残したい、見せたい、写真は一生の宝物。PCCでは、「フォトブック」という新しい思い出写真の残し方を提案しています

④『富士山を撮る ココがベストスポット276』出版
PCCが写真の力で応援してきた富士山世界遺産登録が実現。活動の一環である富士山フォトコンテストの応募作品を集めて写真集を発刊しました

⑤各地で開催するフォトコンテストや写真展に協力
「365日フォトコンテスト」「日本の祭り写真コンテスト」の主催、「秋山庄太郎『花』写真コンテスト」を後援、読売新聞社主催「よみうり風景写真コンテスト」、プレジデント社主催「環境フォトコンテスト」などを応援(→P43)

仲間に、楽しさに 出会える

①写真愛好家とプロ写真家の出会いの場に参加
日本を代表する写真家が集結。その場で写真家に作品を講評してもらえます

②会員サークルをつくる、参加する
会員が5人集まればサークルを立ち上げられます。また既存のサークルに参加することもできます。同じ趣味を持つ仲間と新しい写真ライフがはじまります

日本全国に広がる
PCCの輪

(2013年10月31日現在)

現在入会しているPCC会員の地域別割合。
お近くにPCC会員が住んでいるかもしれません

カメラを、写真を 学べる

①著名写真家によるプライベート講評(3枚セット7000円)
丹地敏明先生、沼田早苗先生、福田健太郎先生、秦達夫先生、山本学先生、田邊和宜先生などの写真家がわかりやすく講評します
*応募用紙はHPからダウンロード、又はお電話でご請求ください

②写真教室・撮影会をご紹介
写真の腕前がみるみる上達します(→P31~33)

楽しくも真剣な写真教室の様子

会員特典

PCC会員は年会費 1500円

特典その1 情報誌『フォトライフ四季』プレゼント
作品発表の場、交流の場、情報満載の「フォトライフ四季」を年4回ご自宅にお届けします

特典その2 プリント商品・フィルムの10%割引
PCC会員証のご提示で、カメラのキタムラなど協力店でのプリント商品が店頭価格より10%割引になります
*協力店はHPでご確認ください
*他の割引との併用は不可
*店頭でお支払いされる場合のみ適用
*フィルムの割引はカメラのキタムラでのみ適用

▲フォトブック各種
▲デジカメプリント/銀塩プリント各種
▲クリスタルプリント各種

特典その3 賛助会員の特典利用
●こども写真館「スタジオマリオ」のお写真代10%OFF
(店頭でお支払いされる場合のみ適用・他の割引との併用は不可)
●スーパーホテルで通常宿泊費が30%OFF
(月・金・日曜日限定、学生・60歳以上の方対象、一部対象外施設あり)
※ご利用されるホテルにご確認ください
●ニッポンレンタカーでレンタカー利用基本料が約5%OFF
(一部対象外クラス・対象外地域あり)
●休暇村本館宿泊費・キャンプ場サイト利用料が10%OFF
●ALSOK綜合警備保障のホームセキュリティご契約時、5千円もしくは1万円キャッシュバック
などなど
※詳しいご利用方法はPCCホームページをご覧ください

PCCプレミアム会員は年会費 4000円

PCC会員特典に加えて

特典その4 撮影情報誌『フォトコンライフ』プレゼント
双葉社刊 定価1400円の季刊誌を年間4冊ご自宅にお届けします

プレミアム会員になると特典1~3に加えて特典4も!!
4冊5,600円が4,000円で手に入って断然お得

見て学べるDVDつき

※入会時期により、お届けする号が変わります

お申し込みは

カメラのキタムラ店頭で
*手数料不要

口座自動振替払いで
☎必要書類をご請求ください
*手数料不要
*毎年の更新手続き不要

クレジットカード払いで
ウェブでお手続きが可能です
または
☎必要書類をご請求ください
*手数料不要

コンビニ振込で
ウェブでお手続きが可能です
または
☎必要書類をご請求ください

郵便局振込で
☎必要書類をご請求ください

会員証
プレミアム会員証
郵送でお届けする案内状に会員証がついています。はがしてお使いください

フォトカルチャー倶楽部へのご入会・お問い合わせ先

特定非営利活動法人
フォトカルチャー倶楽部 事務局
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-28-20-205
☎03-3356-3552
受付時間 10:00~18:00(土日祝は除く)
http://npopcc.jp
blog http://blog.canpan.info/npopcc/

フォトカルチャー倶楽部 検索

8月17日　日本の祭り写真コンテスト2012入賞作品展。左からPCC高橋、腕自慢部門「グランプリ」を受賞された平野君子さん、カメラのキタムラ相模原・アリオ橋本店の大野耕児店長

9月12日　水谷章人写真展。左からホテル・シャレー志賀社長佐藤秀信さん、Ski-est代表佐藤紀隆さん、水谷章人さん、PCC松尾

10月3日　沼田早苗写真展「浅草ものがたり」　オープニングパーティー。左からPCC高橋、PCC顧問沼田早苗さん、PCC松尾、坂井田

10月6日　「四季の鶴岡八幡宮」フォトコンテスト写真展。左からPCC高橋、カメラのキタムラ佐藤友里恵さん、PCC板見、坂井田

見慣れたものを見慣れないものに

PCC多事多忙録

10月22日　フォトギャラリーキタムラ新宿。左からPCC松尾、双葉社編集長中島文夫さん

オーストリアスキー教室スタッフとPCC須藤（左はじ）　スキー教室にご興味がある方はhttp://austria-ski.jp/まで。パンフレットのご請求は、naisg@naisg.co.jpまたは03-3350-6678まで

PCC顧問・竹内敏信さんをかこむトークショー開催

歴代のアシスタントが集まり語らう

10月19日にPCC顧問の竹内敏信さん（写真左）をかこむトークショーがあり、古市智之さんをはじめ、歴代のアシスタントたちが、師匠である竹内さんについて語り合いました。PCC板見（写真右）も進行役として参加。また、11月18日までキヤノンギャラリーSで写真展「悠久の列島ー日本人の原風景」を開催。竹内さんがライフワークとして撮影されてきた桜、滝など約70点を展示しました。

世界遺産・富士山の雄姿がぎっしりつまった

『三好和義 富士山 極上の撮影術』（小学館）

今年、世界遺産になった富士山。その流麗な姿をどうしたら美しく撮影できるか、楽園写真家・三好和義が「いつ、どこで、どうやって」を撮影データとともに惜しみなく公開した一冊を発刊。120点以上の写真についているキャプションはプロのノウハウがぎっしりとつまっていて、読むだけでなく、実際に撮影するときにも役立ちます。車で降りて徒歩10分以内の絶景ポイントから最高の富士山があなたも撮れるようになる！『三好和義 富士山 極上の撮影術』（小学館）は、全国書店で絶賛発売中。定価は1,890円（税込）です。

皆さんの作品をお待ちしています

PCC会員と皆さんでつくる『フォトライフ四季』に、お気に入りの写真を応募してください。

応募方法

プリントの場合：写真サイズ：はがきサイズ、2Lサイズ
写真の裏に必要事項（※）を貼付、ご郵送ください。
データの場合：写真サイズ：2MB前後（350dpiで10cm×15cm程度）
メールのタイトルに「フォトライフ四季掲載希望」、本文に必要事項（※）を記入、送信してください。
※必要事項
①氏名（フリガナ）②〒住所③電話番号④希望のコーナー（表紙、P22）⑤タイトル⑥撮影地⑦ひとことコメント（撮影の工夫やエピソードなど）

88号（2014年3月発行）掲載分は、12月20日（金）まで（テーマ：春）
89号（2014年6月発行）掲載分は、2014年3月20日（木）まで（テーマ：夏）

送り先

NPO法人 フォトカルチャー倶楽部
「フォトライフ四季掲載希望」係
〒160-0004　東京都新宿区四谷4-28-20-205
☎03-3356-3552　Eメール　satsuei@npopcc.jp
※掲載可否は紙面での発表となりますのでご了承ください。また、PCCブログに掲載させていただく場合があります。

募集のおさらい

表紙、P1、P6、P7 …… P1
被写体大辞典 …… P22
X-M1プレゼント …… P15

日常写飯

Facebookグループでは週ごとの写真コンテストがスタート

PCC全国交流Facebookグループでは、楽しい写真談義&交流&スキルアップしながら、毎週写真コンテストを開催。PCC会員以外は非公開。写真が好きな人だけが交流できるウェブ上のグループです。皆さまのご参加をお待ちしております。

●PCC全国交流Facebookグループ
https://www.facebook.com/groups/219025151585923/
「これから写真を勉強したい」「皆さんからの意見をもらいたい」「写真を見てほしい」　と、続々投稿されています。

●Facebookわくわく体験レッスン
Facebookの登録方法や投稿方法、使い方がわからない方、この機会に疑問を解消しませんか？
日時：2014年1月25日（土）10:00〜13:00
講師：松延健児先生
場所：PCC事務局（新宿）
参加費：会員2,500円、一般4,000円

イベント申し込み方法はP33をご覧ください

10月19日の講座の様子。「来てよかった」と疑問が解決できてすっきりとした笑顔

［お詫びと訂正］
2013年9月10日に発行いたしました『フォトライフ四季 Vol.86』におきまして、記載に誤りがありました。正しくは以下の通りです。
○P38 中段のプロフィール
（誤）審査員：田沼武能氏　1958年、徳島県生まれ
（正）審査員：田沼武能氏　1929年、東京・浅草生まれ
読者および関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びし、訂正いたします。

前号で募集した種清 豊さん愛用の三脚「マンフロットBefree」のプレゼント当選者は、廣瀬美幸さん（茨城県）に決定しました。おめでとうございます

フォトライフ四季 Vol.87 WINTER 平成25年12月10日発行 季刊第87号 NPO法人フォトカルチャー倶楽部発行 〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-20-205 ☎03-3356-3552